

平成27年度第2回幕別町創生総合戦略審議会 議案

日時 平成27年9月9日(水)
午後6時30分
場所 幕別町民会館2階講堂

〔会議次第〕

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事

- | | |
|----------------------------|-----|
| (1) 住民アンケート調査の結果について | 資料1 |
| (2) 幕別町人口ビジョンの骨子について | 資料2 |
| (3) 幕別町創生総合戦略の骨子（イメージ）について | 資料3 |
| (4) その他 | |

- 4 閉会

次回開催予定 平成27年10月下旬

(企画室)

人口の将来展望に関する アンケート調査結果概要

平成27年9月9日
幕別町創生総合戦略審議会 資料1

【アンケート調査の概要】

実施期間：平成27年7月17日（金）～7月31日（金）

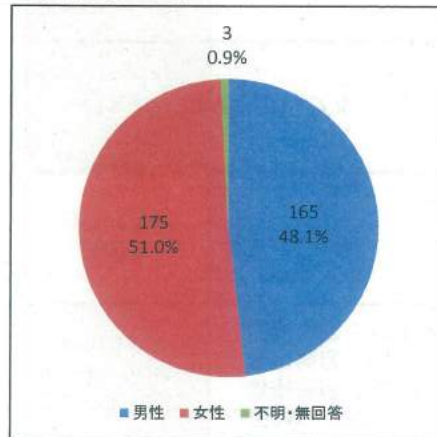
総サンプル数：3,110サンプル

サンプルの抽出方法：住民基本台帳を基にした各年齢層及び性別からのランダムサンプリング

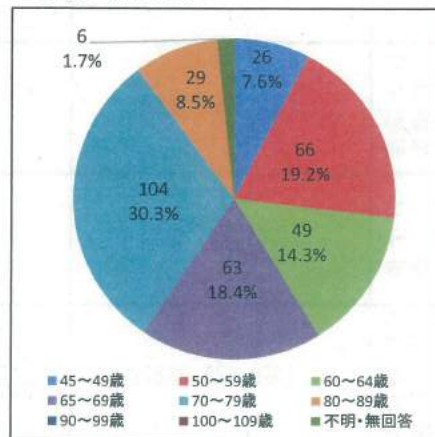
対象	配布数	回収数（回答率） ※有効票のみ	主な質問内容	人口ビジョン策定における使途（案）
45歳以上の方	760サンプル 幕別地区：170サンプル 札内地区：545サンプル 忠類地区：45サンプル	343票（45.1%）	人口減少に対する意識・幕別町での定住意欲及びそれを実現する施策ニーズ・高齢期の暮らし・雇用支援施策ニーズ等	今後高齢期を迎える年齢層及び高齢期年齢層における人口増減の背景、定住意欲を支持する施策ニーズの把握とその分析、雇用支援施策ニーズの把握とその分析
20～45歳未満の女性（未婚・既婚含む）	1,150サンプル 幕別地区：260サンプル 札内地区：820サンプル 忠類地区：70サンプル	339票（29.5%）	結婚の意思やそれを実現する施策ニーズ・将来の子ども数、子育ての弊害や子育て支援となる施策ニーズ・幕別町での定住意欲及びそれを実現する施策ニーズ・雇用支援施策ニーズ等	未婚・既婚者の出産・結婚・子育てニーズと人口増減の関係、定住意欲を支持する施策ニーズの把握とその分析、雇用支援施策ニーズの把握とその分析
高校生（15～18歳）	200サンプル	43票（21.5%）	卒業後の進路・進路決定に重要なサポート・幕別町での定住意欲・雇用支援施策ニーズ等	高校生の就職・進学動向を把握することで、進路サポートの施策ニーズの把握とその分析、雇用支援施策ニーズの把握とその分析
転入者	500サンプル	185票（37.0%）	他自治体からの転入理由・幕別町での定住意欲及びそれを実現する施策ニーズ・人口減少に対する意識・雇用支援施策ニーズ等	転入者の転入理由の把握、定住意欲を支持する施策ニーズの把握とその分析、（転出者との比較分析）、雇用支援施策ニーズの把握とその分析
転出者	500サンプル	97票（22.5%） ※69票住所不明	他自治体への転出理由・幕別町への再転入意欲等	転出者の転出理由の把握、定住意欲を支持する施策ニーズの把握とその分析（転入者との比較分析）
合計	3,110サンプル	1,007票（32.4%）		

45歳以上の方

■性別 (N=343)



■年齢 (N=343)

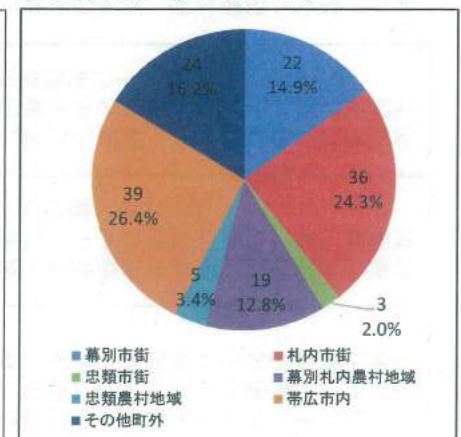


■職種 (N=152)

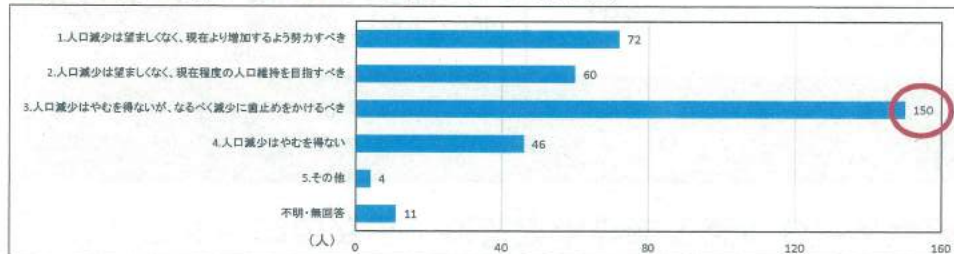


無職・年金受給者は除く。

■お勤めの地区 (N=148)



■本町の人口が減少していくことについて (N=343)



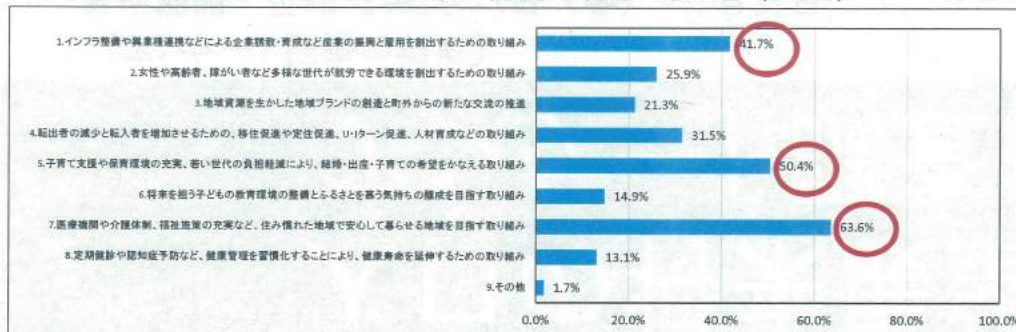
■本町で暮らすために、必要なこと (N=343)

複数回答可



■人口減少を克服するために、本町が今後取り組むべきこと (N=343)

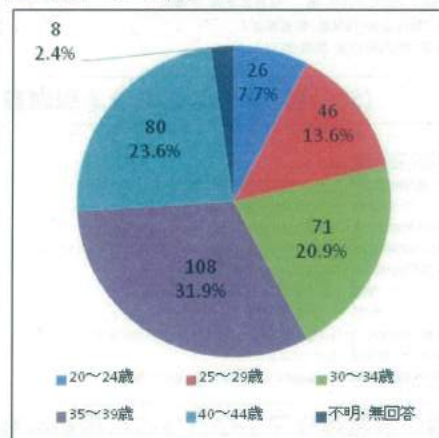
複数回答可



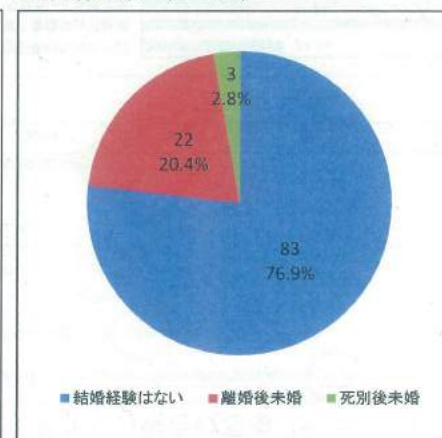
・人口減少はやむを得ない部分がありつつも、なるべく減少に歯止めをかけるべきという意見が多数を占める(他の年齢層も同様の傾向)。
 ・人口減少対策として町に求めることは、福祉の充実・子育て支援・産業振興の順。
 ・本町で暮らすためには、病院や買物先などの暮らしの安全性や生活の利便性を必要としている。

20～45歳未満の女性（未婚者）

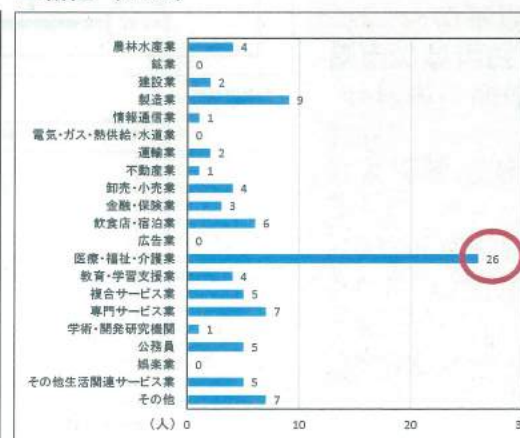
■年齢（N=339）



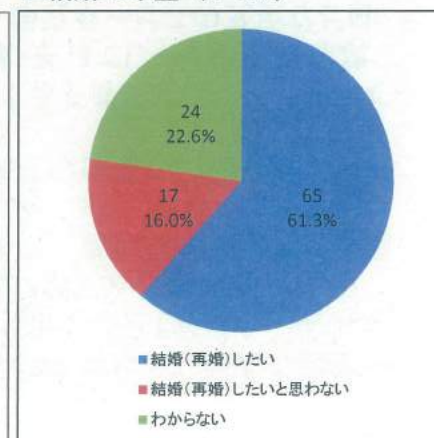
■未婚の別（N=108）



■職種（N=92）



■結婚の希望（N=106）

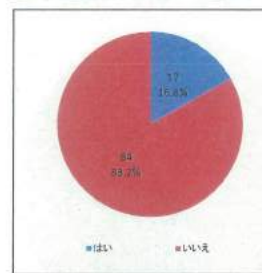


■結婚（再婚）を妨げている理由（N=28）



複数回答可

■出産の計画の有無（N=101）



■結婚（再婚）をしたいと思わない理由（N=33）

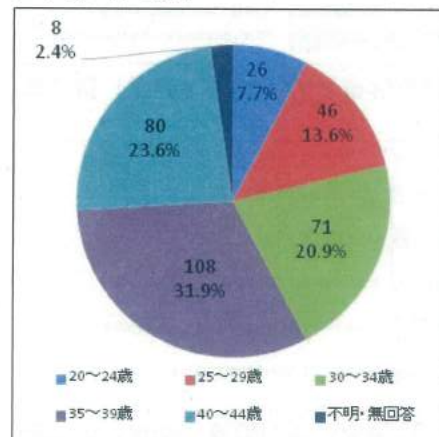


複数回答可

- ・20～45歳未満の女性回答者の31.9%が未婚であった。
- ・未婚者のうち6割に今後の結婚の意思はある。
- ・結婚を妨げている理由として、経済的な部分もあるが、大半はパートナーとの関係に帰結される。
- ・結婚をしたいと思わない理由として、個人の自由度の縮小が挙げられた。
- ・回答者の3割が、今後の出産計画を有していない。

20～45歳未満の女性（既婚者）

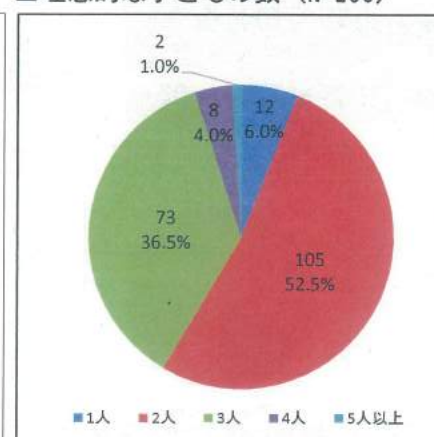
■年齢（N=339）



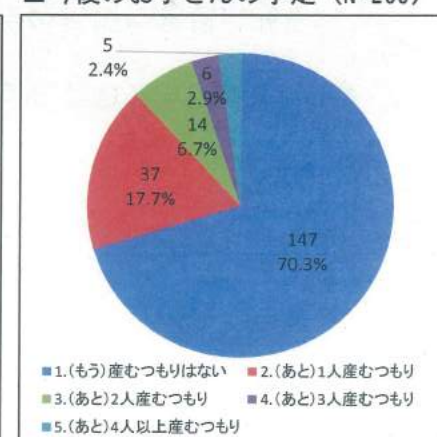
■職種（N=148）



■理想的な子どもの数（N=200）



■今後のお子さんの予定（N=209）



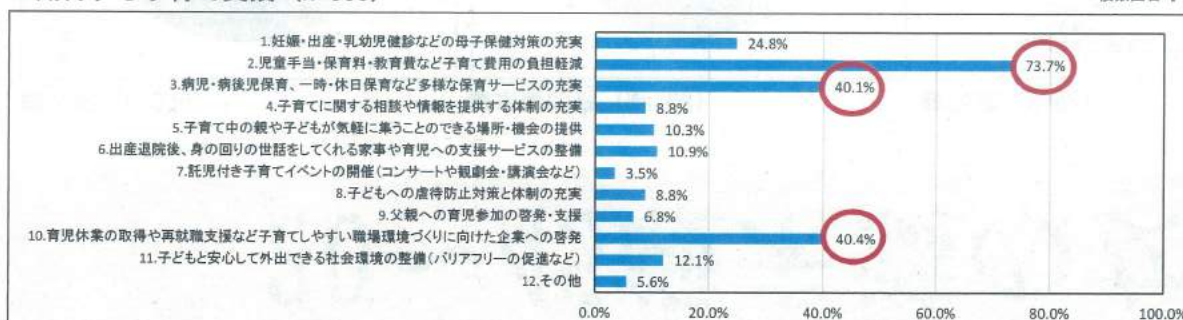
■今後持つつもりの子どもの数が理想の数に届かない場合の理由（N=94）

複数回答可



■期待する子育て支援（N=339）

複数回答可



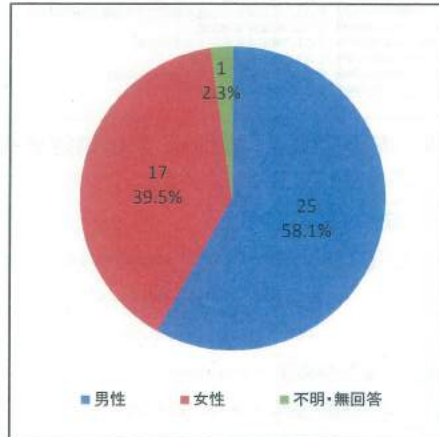
・理想的な子どもの人数は、2～3人の回答が大半であるが、今後の子どもを産むつもりはないという回答が7割であった。

・理想的な子どもの人数に届かない場合の理由として考えられることは、子育てに対する経済的負担や現在の仕事への影響が挙げられた。

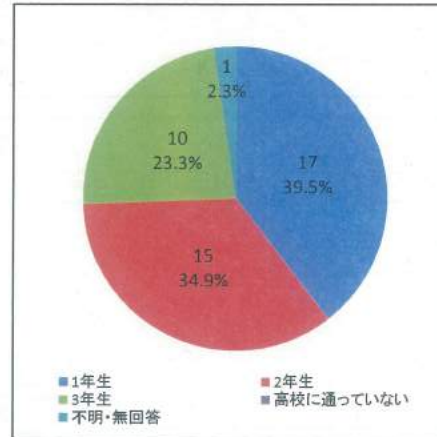
・今後町に期待する子育て支援策は、子育て費用の負担軽減・子育てしやすい職場環境づくりへの支援・保育サービスの充実など母親の負担を軽減する支援が挙げられた。

高校生 (15～18歳)

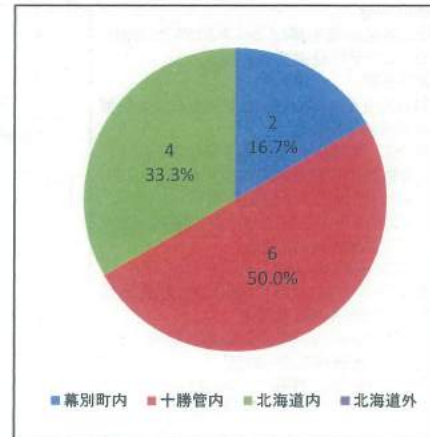
■性別 (N=43)



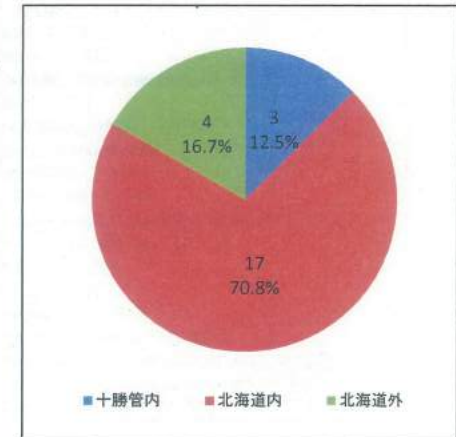
■学年 (N=43)



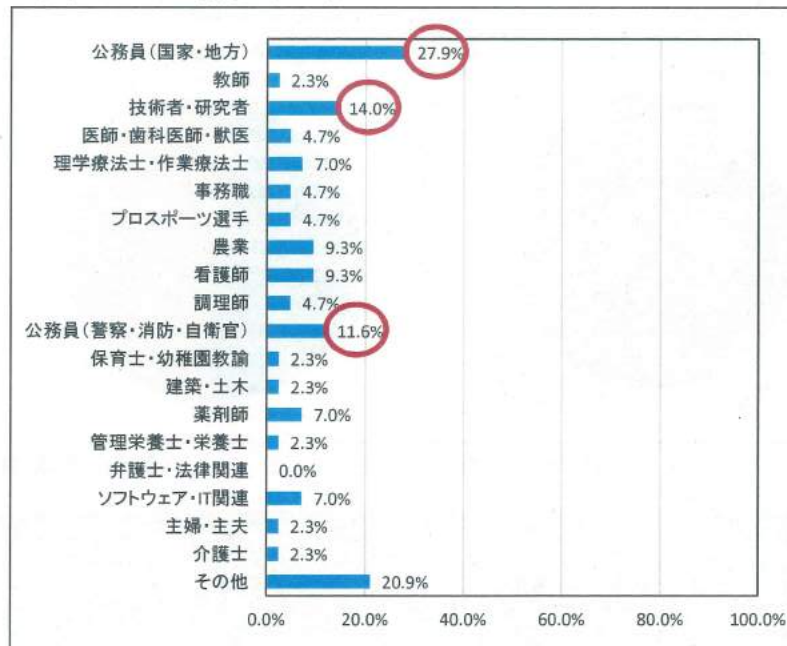
■就職を希望 (就職先) (N=12)



■進学を希望 (進学先) (N=24)



■将来なりたい職業 (N=43)

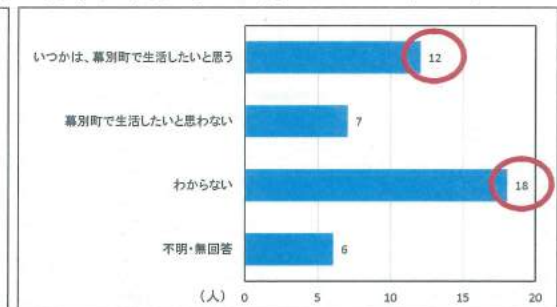


複数回答可

■町外への就職や進学を選択した理由 (N=43) ■将来、幕別町で生活したいか (N=43)



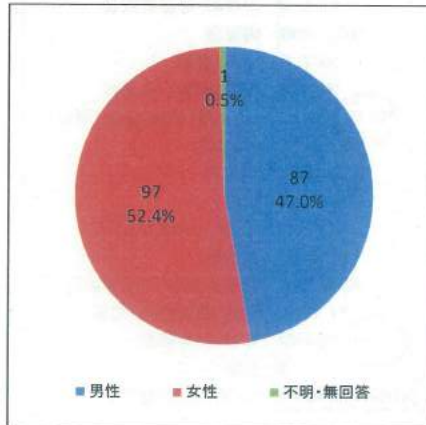
複数回答可



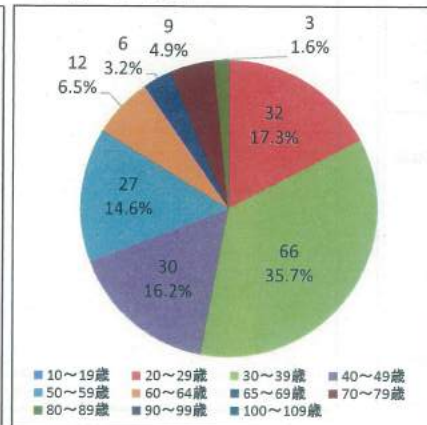
- ・希望する就職先は、8割強が幕別町外であった。
- ・希望する進学先は、7割が「北海道内」である。
- ・希望する職業は、4割近くが公務員で、それ以外にはばらつきがあった。
- ・町外への就職や進学を選択した理由としては、希望する就職先や進学先が町内にないという理由が大半であった。
- ・将来の幕別町で生活する意向については、「わからない」が4割で、「いつか、幕別町で生活したいと思う」が2割強であった。

転入者

■性別 (N=185)



■年齢 (N=185)

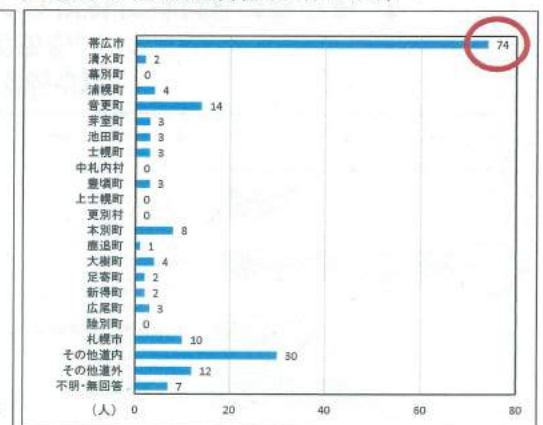


■職種 (N=135)

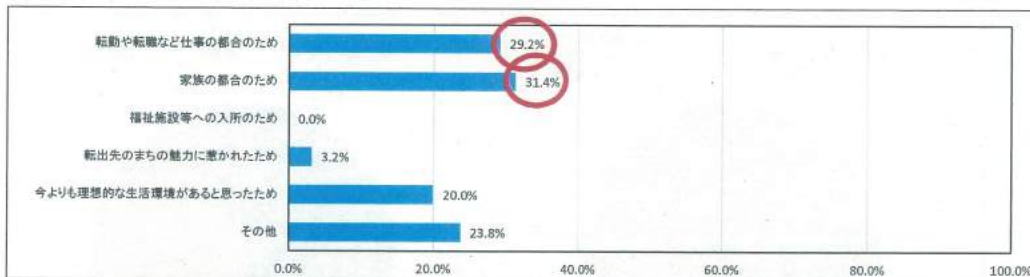


無職・年金受給者は除く。

■転入する前の居住地 (N=185)

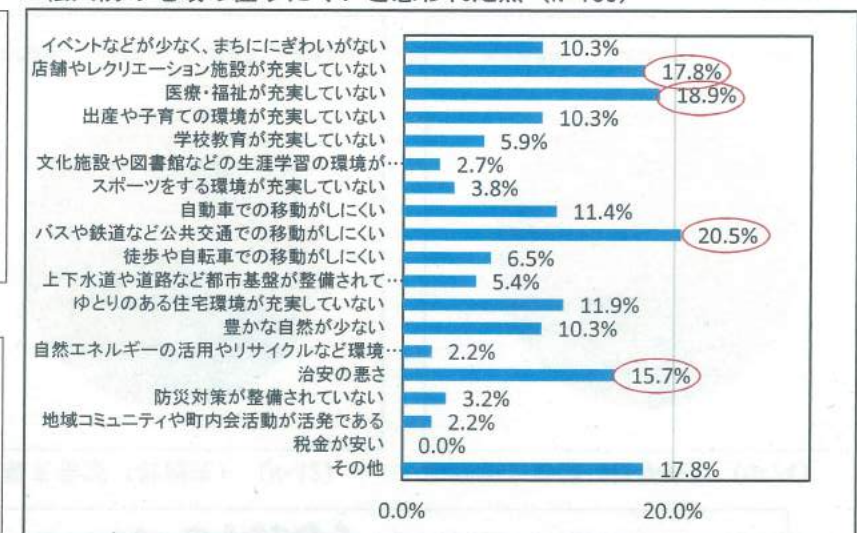


■幕別町への転入の理由 (N=185)



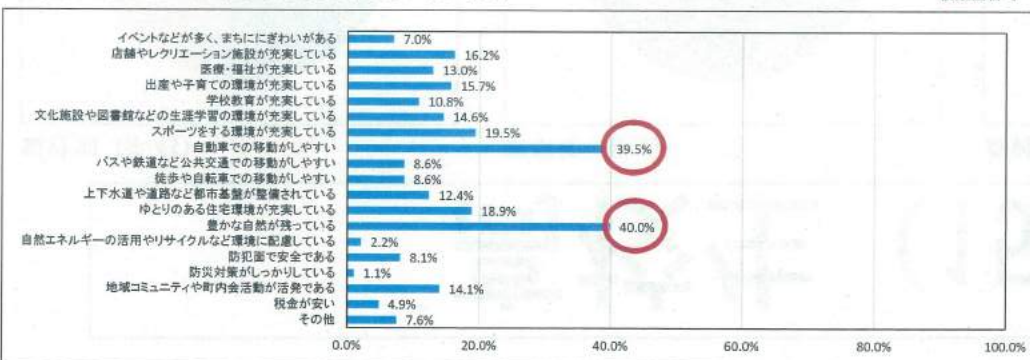
複数回答可

■転入前の地域の住みにくいと思われた点 (N=185)



複数回答可

■幕別町のどこに魅力を感じたか (N=185)

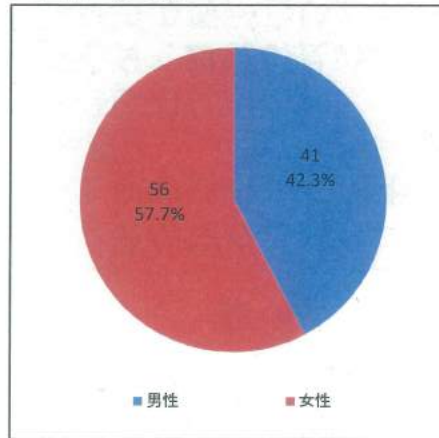


複数回答可

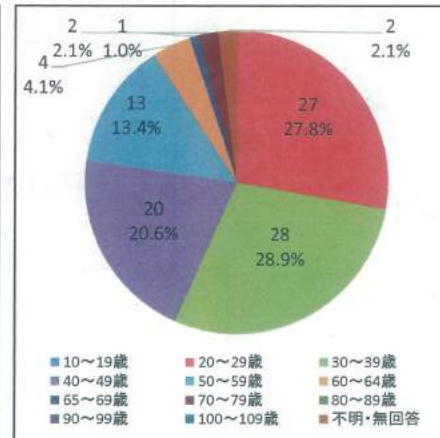
・転入者回答者のうち、4割が帯広市からの転入者であった。
・仕事や家族の都合による転入が大半で、自動車移動の利便性・豊かな自然環境を魅力に感じている。

転出者

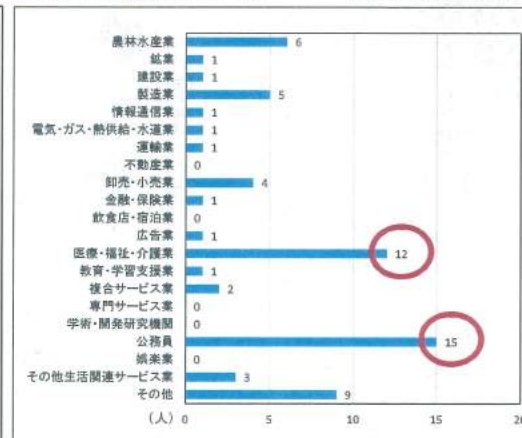
■性別 (N=97)



■年齢 (N=97)

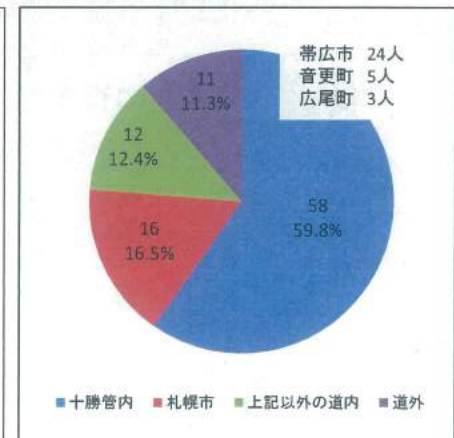


■現在の職業 (N=64)



無職・年金受給者は除く。

■お住まいの地区 (N=97)



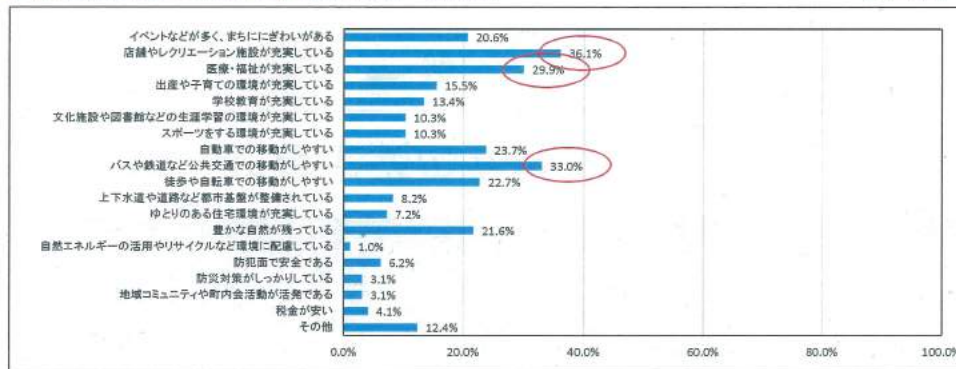
■幕別町からの転出の理由 (N=97)

複数回答可



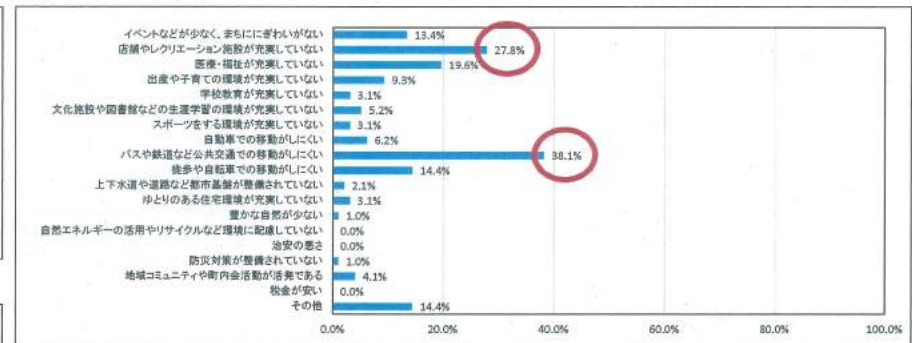
■転出先のどこに魅力を感じたか (N=97)

複数回答可



■幕別町の住みにくいと思われた点 (N=97)

複数回答可



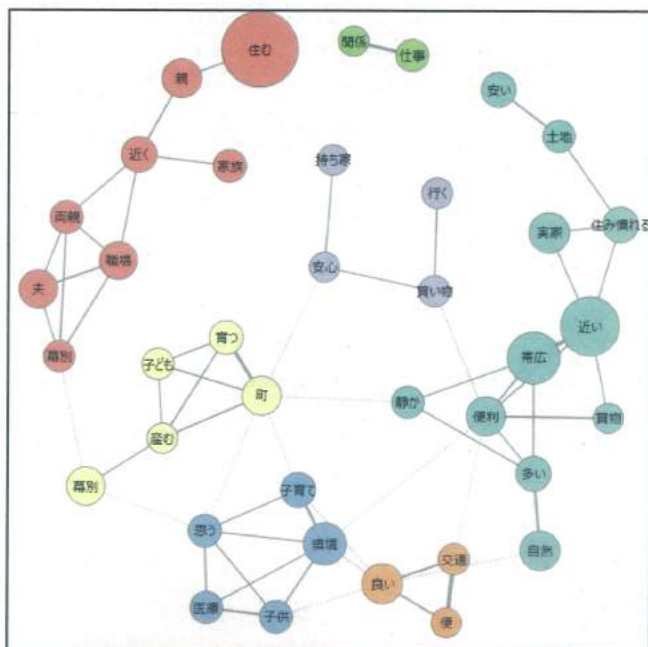
・本町からの転出者回答者のうち、6割近くが十勝管内に現在居住している。

・転出理由の大半が、仕事や家族の都合であり、転出先の店舗やレクリエーションの充実・公共交通の利便性・医療福祉の充実を魅力に感じている。

・それと呼応して、本町の住みにくさとして、店舗やレクリエーションの充実・公共交通の利便性が挙げられた。

自由記述（幕別町の居住理由）

20～45歳未満の女性

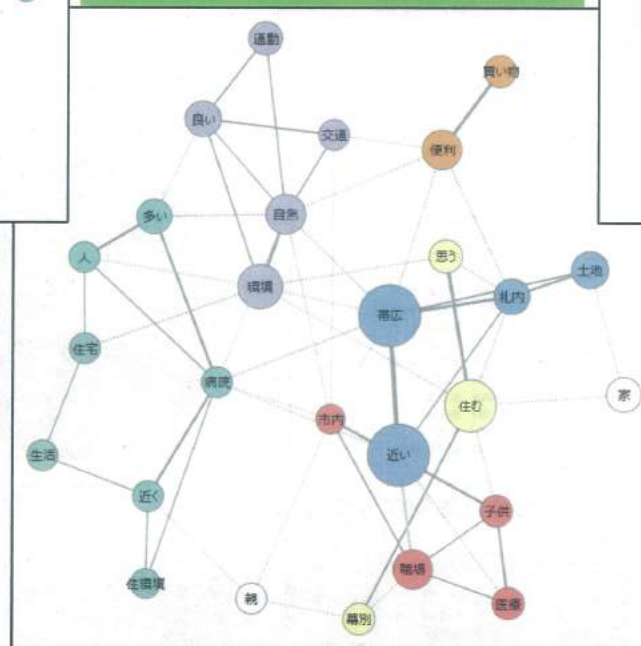


- ・仕事や家族の都合。
- ・土地が安く、住み慣れている持ち家。
- ・帯広市に近い
- ・子育て環境が良い。
- ・交通の便が良い。

抽出語	出現回数
近い	47
帯広	37
環境	23

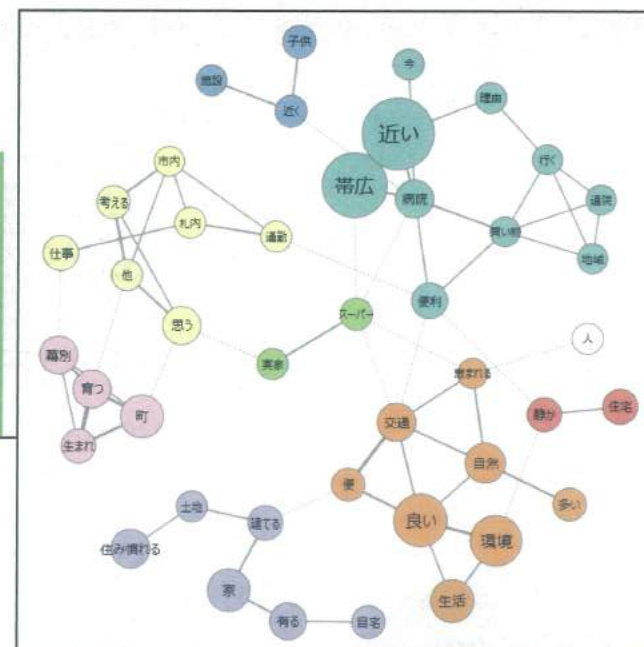
抽出語	出現回数
近い	47
帯広	40
環境 *	26

- ・仕事や家族の都合。
- ・買物に便利。
- ・帯広市に近い。
- ・札内に持ち家が持てる。
- ・通勤に便利。
- ・自然環境に恵まれている。



轉入者

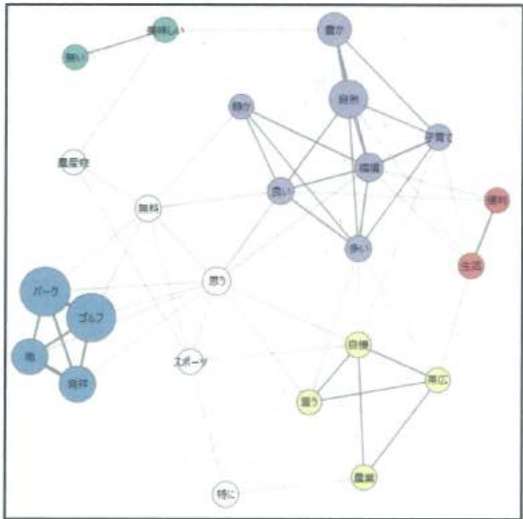
45歲以上



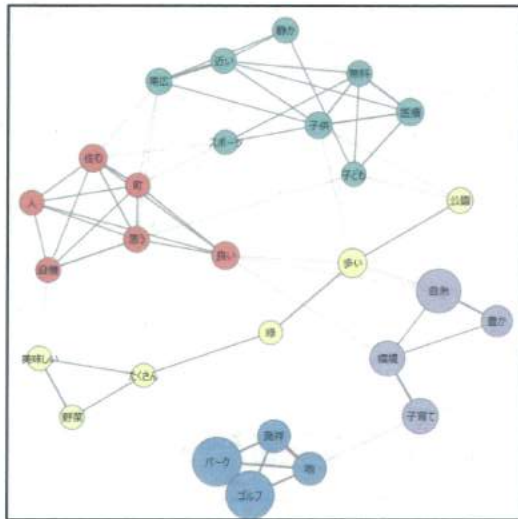
- ・生まれ育った町で、住み慣れている。
- ・帯広市に近い
- ・子育て環境良い。通院に便利。
- ・交通の便が良い。
- ・自然環境に恵まれている。

抽出語	出現回数
近い	31
帯広	31
環境	17

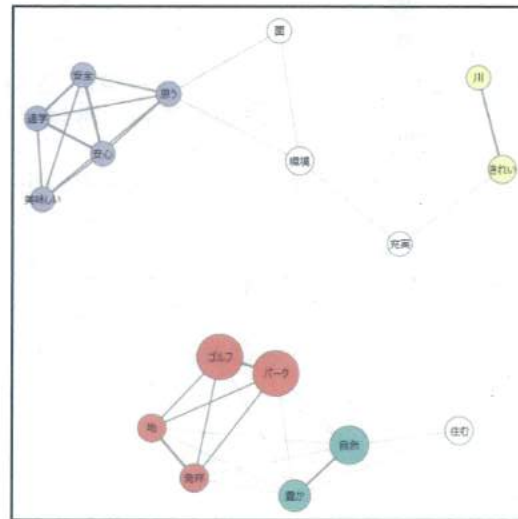
自由記述（幕別町の自慢）



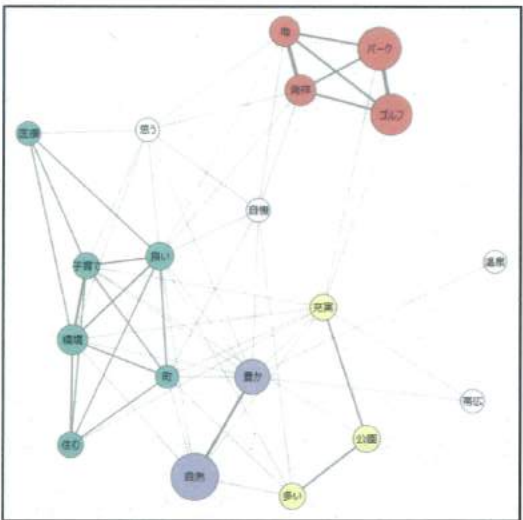
45歲以上



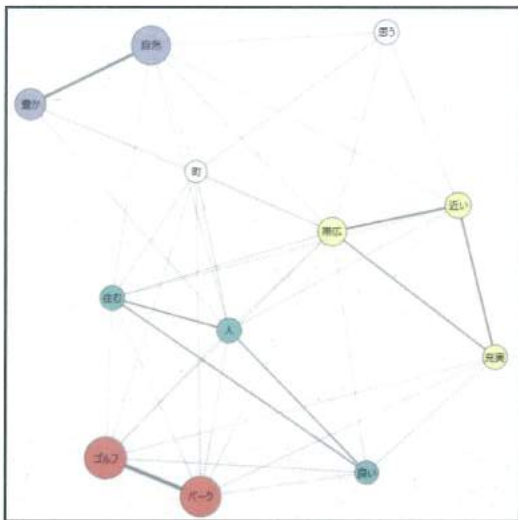
20～45歳未満の女性



15~18歲



転入者

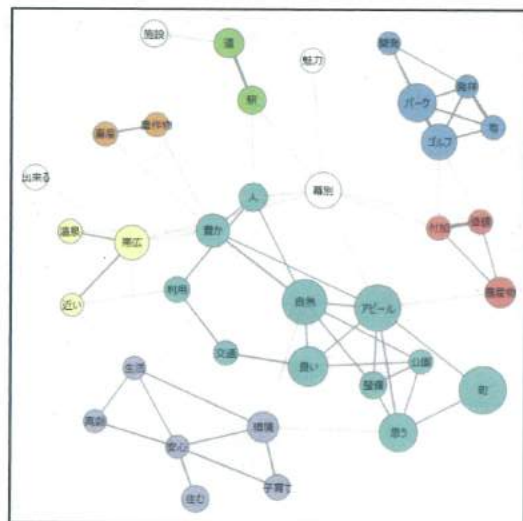


轉出者

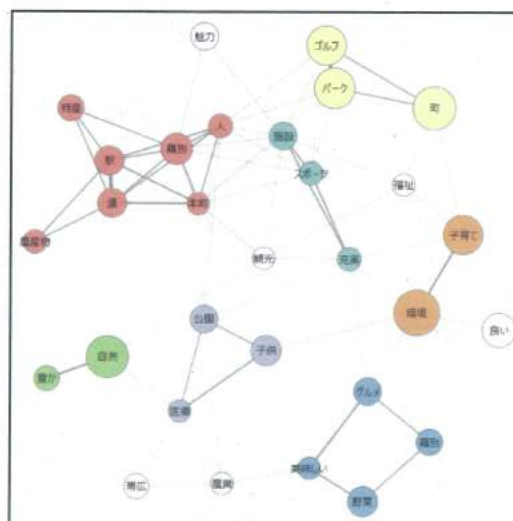
- ・パークゴルフ発祥の地
- ・豊かな自然
- ・川がきれい。
- ・通学に安全安心
- ・帯広市に近い。
- ・野菜が美味しい。
- ・子育て環境が良い。
- ・公園が多い。

抽出語	出現回数
パーク	228
ゴルフ	223
自然	169
発祥	100
豊か	99
環境	68
子育て	53
帯広	32
公園	27
充実	24

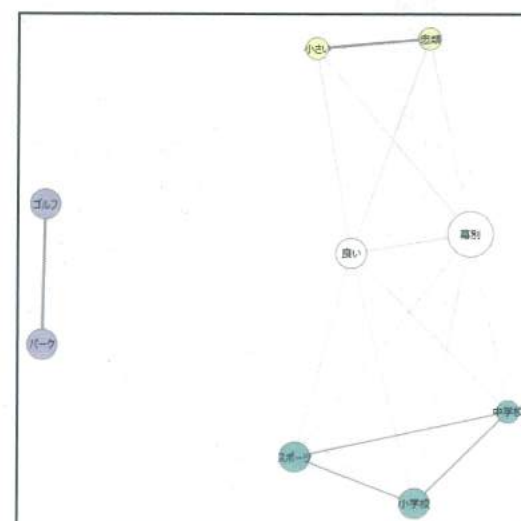
自由記述（町外へのPR）



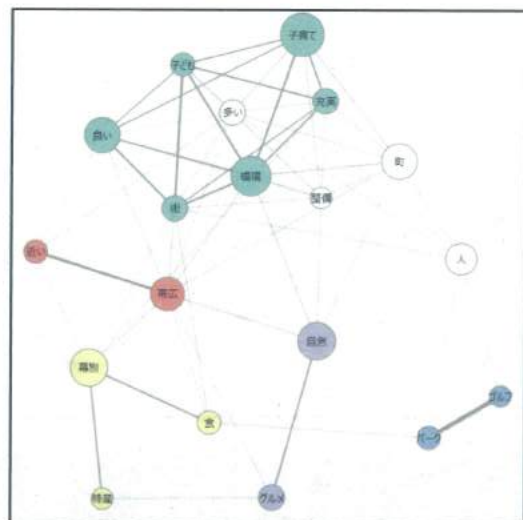
45歳以上



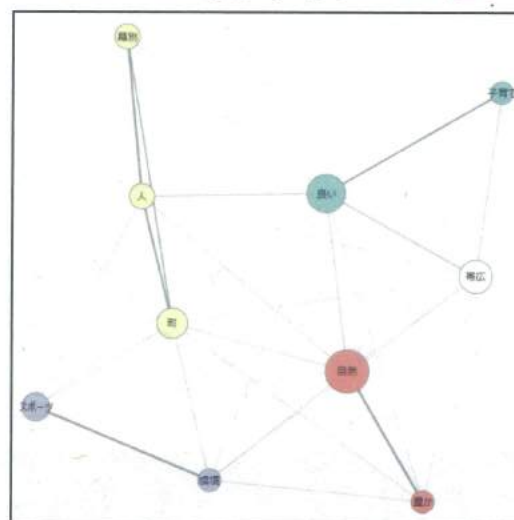
20～45歳未満の女性



15～18歳



転入者



転出者

- ・パークゴルフ発祥の地
- ・小中学校のスポーツ
- ・スポーツ施設が充実。
- ・豊かな自然
- ・温泉が近い。
- ・道の駅を作って、アピール。
- ・農産物に付加価値を付けて、アピール。

抽出語	出現回数
自然	69
環境	53
幕別	51
パーク	49
子育て	47
ゴルフ	45
帯広	41
豊か	30
作る	28
道	25
駅	24
グルメ	23
農産物	22
野菜	22
スポーツ	20
公園	20

CSポートフォリオ分析について

CSポートフォリオ分析とは、項目別満足度と総合満足度への影響度から、重点改善領域を抽出する分析手法です。

総合満足度(幕別町の暮らし全般への総合評価)を構成する各質問項目毎の「満足度」を縦軸、総合満足度と各要素毎の関係の強さ「重要度」を横軸にとり、各要素をプロットすることで重点的に改善する要素を明らかにし、改善施策の立案・優先順位付けの判断資料とします。

①最優先改善施策

重要度が高いにも関わらず、満足していないゾーン。最優先に考慮すべき、要改善検討項目となる。

②重点維持施策

現状満足度も高く、重要度も高いゾーン。現時点での満足の源とみなすことができる。

③維持施策

満足度は高いものの、重要度は低いゾーン。とりあえずは現状を維持しておけばよい項目。

④改善施策

満足度も低く、重要度も低いゾーン。

分析結果のイメージ

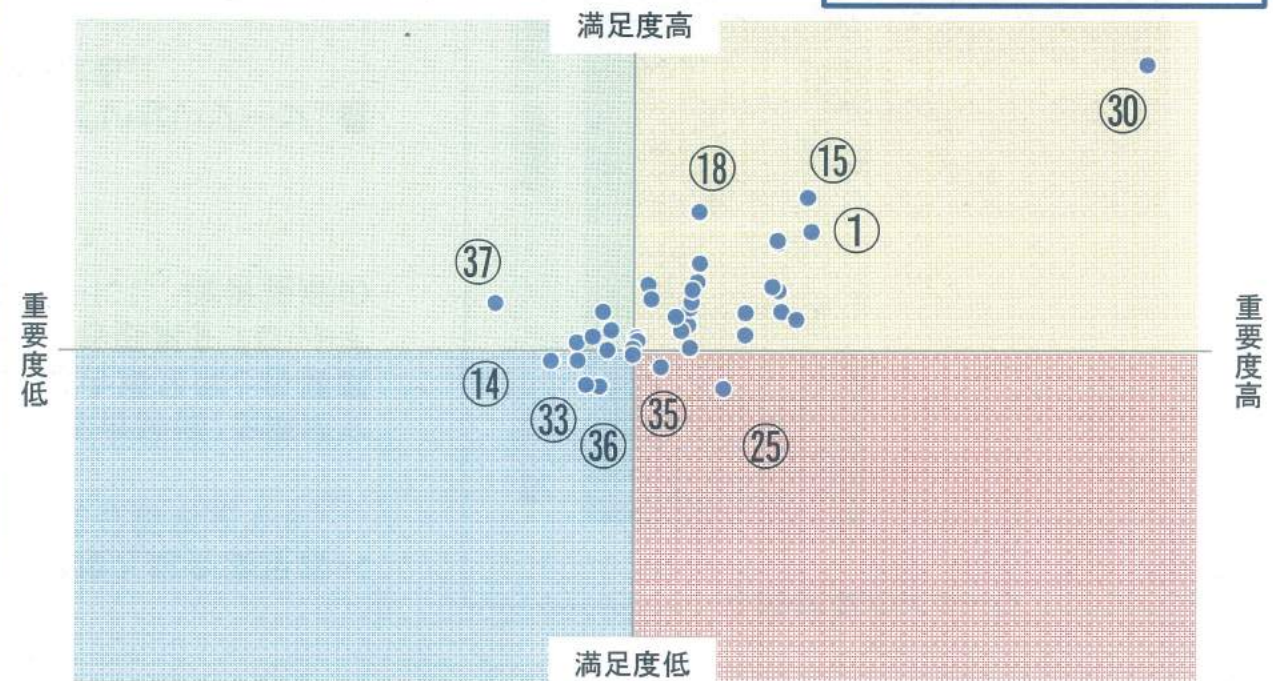


CSポートフォリオ分析 (全地域)



- ① 道路舗装や沿道の整備状況について
- ② 上下水道の整備状況について
- ③ 家庭ゴミの処理(分別方法)について
- ④ 宅地造成・住宅整備について
- ⑤ 町並みや景観(公園・建物・看板など)の整備について
- ⑥ 除雪・排雪体制の整備について
- ⑦ 公共料金(水道・ガス・電気)について
- ⑧ 新鮮な水や空気などの生活環境について
- ⑨ 森や川などの自然環境について
- ⑩ 商店街や町内の経済の魅力について
- ⑪ 農林業などの一次産業の魅力について
- ⑫ 地域資源を活用した製品開発・販売について
- ⑬ 働く場の確保状況について
- ⑭ 新規企業の誘致状況について
- ⑮ 買い物の便利さ
- ⑯ 通勤・通学・通院などの日常の交通手段
- ⑰ 管外・道外などに行くための交通手段
- ⑱ 快適な住環境について
- ⑲ 情報通信網の整備状況について
- ⑳ 消防・救急体制の整備状況について
- ㉑ 高齢者や障害者福祉について
- ㉒ 保育所・子育て支援について
- ㉓ 子供の遊び場の整備状況
- ㉔ 医療体制(医療施設)の整備状況
- ㉕ 防災(避難場所・耐震)に向けた取り組み
- ㉖ 犯罪対策や防犯対策
- ㉗ 交通安全対策
- ㉘ 学校や図書館の教育環境整備について
- ㉙ 次世代を担う人材育成に関する取り組み
- ㉚ 生涯教育を受ける環境整備について
- ㉛ スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について
- ㉜ 音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について
- ㉝ 市民活動(ゴミ拾いや植樹など)へ参加しやすい社会に向けた取り組み
- ㉞ 郷土愛の向上に向けた取り組み
- ㉟ 町内地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊱ 町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊲ 魅力ある観光地づくりに向けた取り組み
- ㊳ 移住や来訪による地域活力向上に向けた取り組み
- ㊴ 役場からの情報提供・住民の声を聞く体制づくりについて

転出者を除く合計 876名
 札内市街地 611名、幕別市街地 155名、忠類市街地40名
 幕別札内農村地域 57名、忠類農村地域 13名



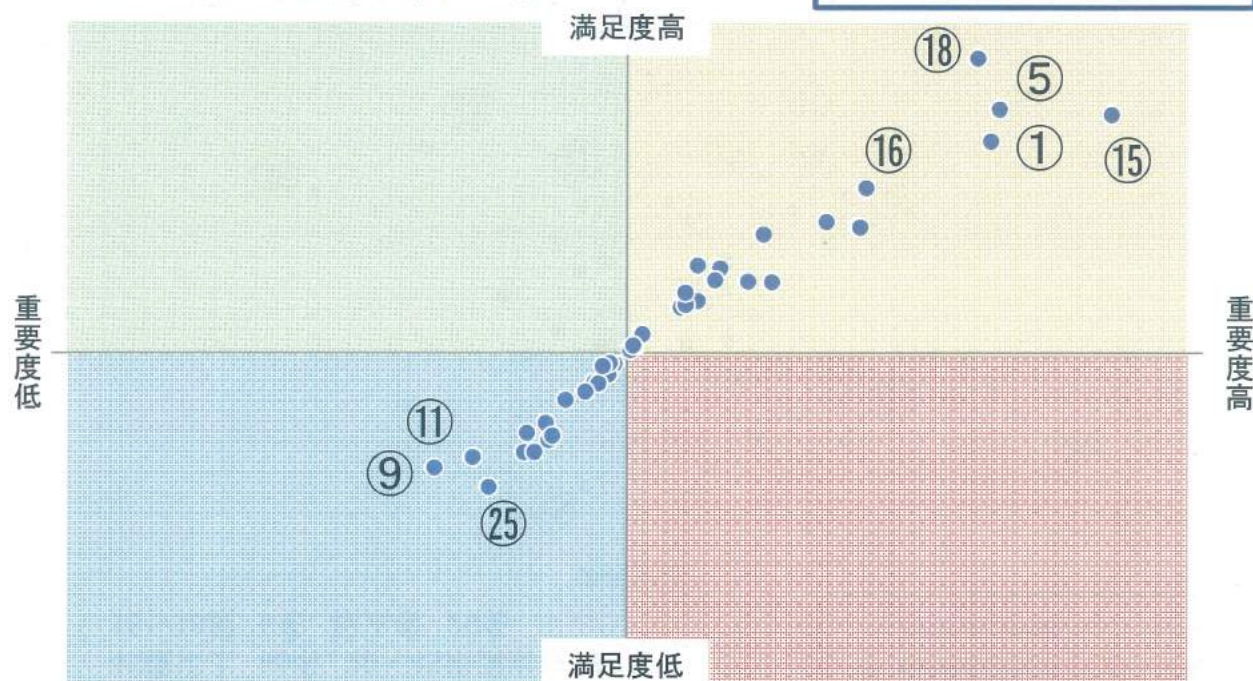
大半の項目が、重点維持施策に位置された。防災対策や町内地域の交流・連携強化が優先的な施策ニーズとして挙げた。農林業や新規企業誘致などの産業振興、高齢者や障害者福祉施策、市民活動の推進が今後の改善施策として挙げた。

CSポートフォリオ分析 (札幌市街地)



- ① 道路舗装や沿道の整備状況について
- ② 上下水道の整備状況について
- ③ 家庭ゴミの処理(分別方法)について
- ④ 宅地造成・住宅整備について
- ⑤ 町並みや景観(公園・建物・看板など)の整備について
- ⑥ 除雪・排雪体制の整備について
- ⑦ 公共料金(水道・ガス・電気)について
- ⑧ 新鮮な水や空気などの生活環境について
- ⑨ 森や川などの自然環境について
- ⑩ 商店街や町内の経済の魅力について
- ⑪ 農林業などの一次産業の魅力について
- ⑫ 地域資源を活用した製品開発・販売について
- ⑬ 働く場の確保状況について
- ⑭ 新規企業の誘致状況について
- ⑮ 買い物の便利さ
- ⑯ 通勤・通学・通院などの日常の交通手段
- ⑰ 管外・道外などに行くための交通手段
- ⑱ 快適な住環境について
- ⑲ 情報通信網の整備状況について
- ⑳ 消防・救急体制の整備状況について
- ㉑ 高齢者や障害者福祉について
- ㉒ 保育所・子育て支援について
- ㉓ 子供の遊び場の整備状況
- ㉔ 医療体制(医療施設)の整備状況
- ㉕ 防災(避難場所・耐震)に向けた取り組み
- ㉖ 犯罪対策や防犯対策
- ㉗ 交通安全対策
- ㉘ 学校や図書館の教育環境整備について
- ㉙ 次世代を担う人材育成に関する取り組み
- ㉚ 生涯教育を受ける環境整備について
- ㉛ スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について
- ㉜ 音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について
- ㉝ 市民活動(ゴミ拾いや植樹など)へ参加しやすい社会に向けた取り組み
- ㉞ 郷土愛の向上に向けた取り組み
- ㉟ 町内地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊱ 町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊲ 魅力ある観光地づくりに向けた取り組み
- ㊳ 移住や来訪による地域活力向上に向けた取り組み
- ㊴ 役場からの情報提供・住民の声を聞く体制づくりに関する取り組み

合計610名
 45歳以上 234名、20～45未満女性 204名
 15～18歳 28名、転入者 144名



重点維持施策と改善施策に二分された。通勤・通学・通院・買い物などの生活の利便性の確保や町並みや景観の確保が重点維持施策として挙げられた。また、自然環境の整備や農林業などの一次産業の魅力の向上、防災の取り組みなどが今後の改善施策として挙げられた。

CSポートフォリオ分析 (幕別市街地)

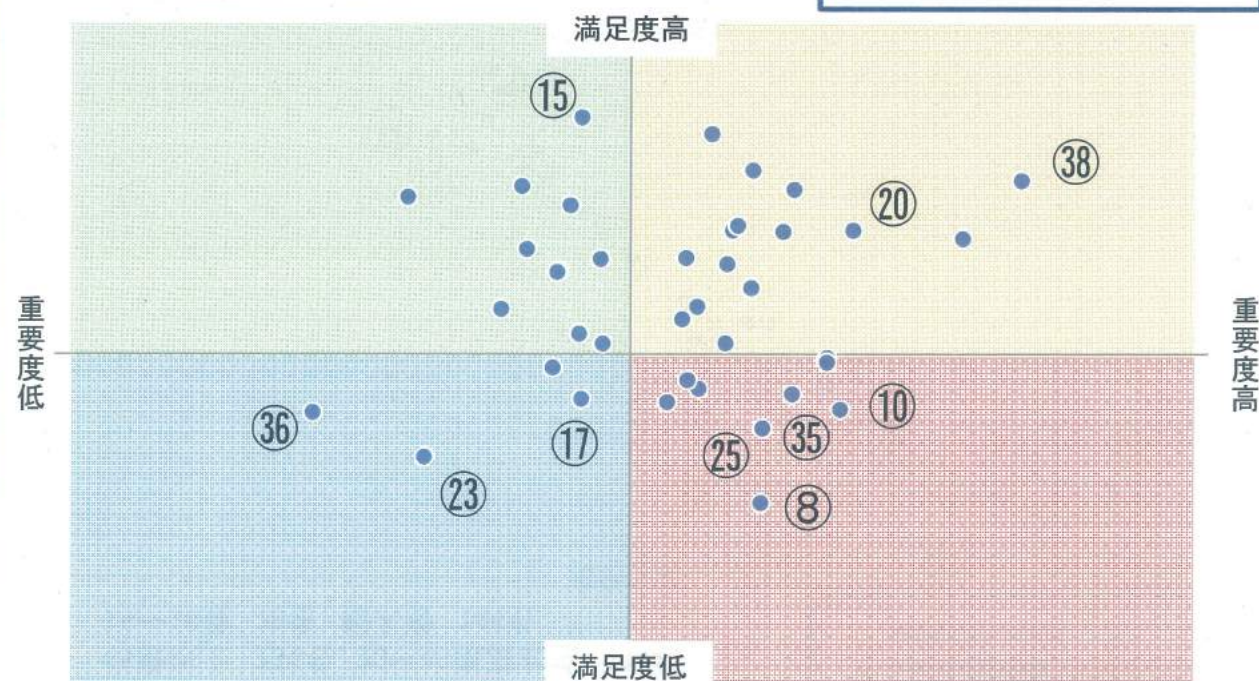


- ① 道路舗装や沿道の整備状況について
- ② 上下水道の整備状況について
- ③ 家庭ゴミの処理(分別方法)について
- ④ 宅地造成・住宅整備について
- ⑤ 町並みや景観(公園・建物・看板など)の整備について
- ⑥ 除雪・排雪体制の整備について
- ⑦ 公共料金(水道・ガス・電気)について
- ⑧ 新鮮な水や空気などの生活環境について
- ⑨ 森や川などの自然環境について
- ⑩ 商店街や町内の経済の魅力について
- ⑪ 農林業などの一次産業の魅力について
- ⑫ 地域資源を活用した製品開発・販売について
- ⑬ 働く場の確保状況について
- ⑭ 新規企業の誘致状況について
- ⑮ 買い物の便利さ
- ⑯ 通勤・通学・通院などの日常の交通手段
- ⑰ 管外・道外などに行くための交通手段
- ⑱ 快適な住環境について
- ⑲ 情報通信網の整備状況について
- ⑳ 消防・救急体制の整備状況について
- ㉑ 高齢者や障害者福祉について
- ㉒ 保育所・子育て支援について
- ㉓ 子供の遊び場の整備状況
- ㉔ 医療体制(医療施設)の整備状況
- ㉕ 防災(避難場所・耐震)に向けた取り組み
- ㉖ 犯罪対策や防犯対策
- ㉗ 交通安全対策
- ㉘ 学校や図書館の教育環境整備について
- ㉙ 次世代を担う人材育成に関する取り組み
- ㉚ 生涯教育を受ける環境整備について
- ㉛ スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について
- ㉜ 音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について
- ㉝ 市民活動(ゴミ拾いや植樹など)へ参加しやすい社会に向けた取り組み
- ㉞ 郷土愛の向上に向けた取り組み
- ㉟ 町内地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊱ 町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊲ 魅力ある観光地づくりに向けた取り組み
- ㊳ 移住や来訪による地域活力向上に向けた取り組み
- ㊴ 役場からの情報提供・住民の声を聞く体制づくりについて

合計155名

45歳以上 60名、20～45未満女性 69名

15～18歳 6名、転入者 20名



買い物の利便性や次世代の人材育成については、一定の満足度があった。商店街の活性化や町内の地域連携、高齢者福祉、医療施設の整備などが優先的な施策ニーズとして挙げられた。また、子供の遊び場の整備や町外連携や管外等への交通手段の整備が今後の改善点として挙げられた。

CSポートフォリオ分析 (忠類市街地)

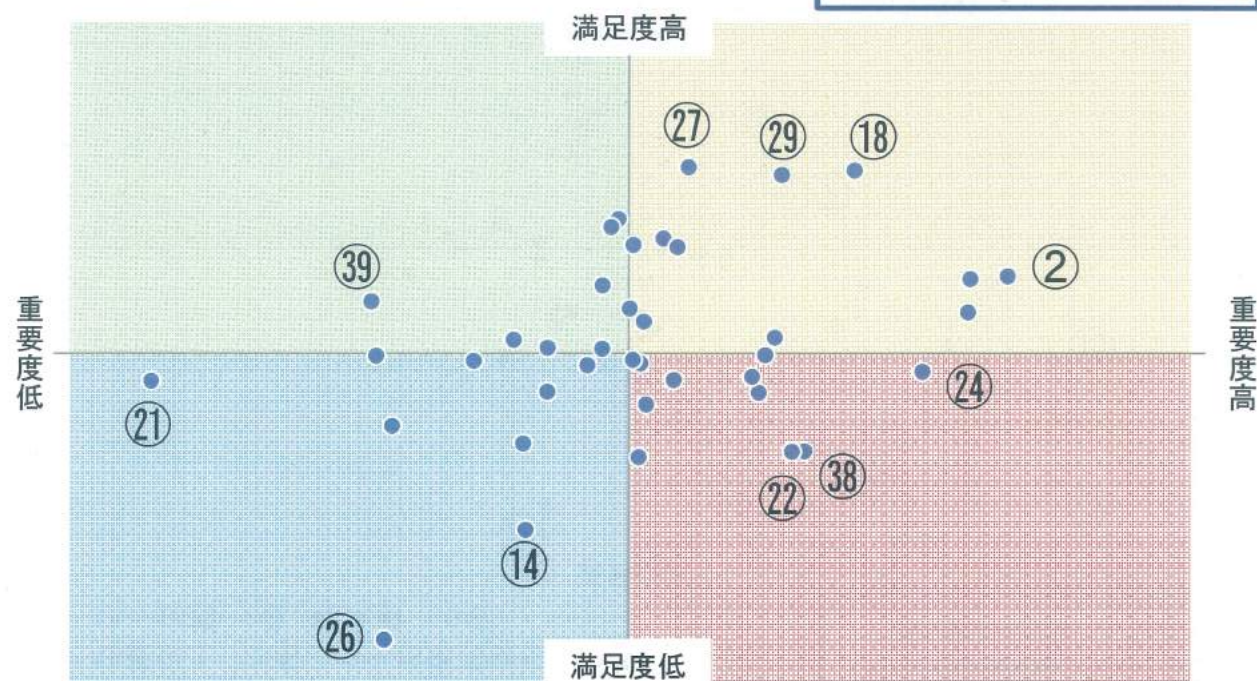


- ① 道路舗装や沿道の整備状況について
- ② 上下水道の整備状況について
- ③ 家庭ゴミの処理(分別方法)について
- ④ 宅地造成・住宅整備について
- ⑤ 町並みや景観(公園・建物・看板など)の整備について
- ⑥ 除雪・排雪体制の整備について
- ⑦ 公共料金(水道・ガス・電気)について
- ⑧ 新鮮な水や空気などの生活環境について
- ⑨ 森や川などの自然環境について
- ⑩ 商店街や町内の経済の魅力について
- ⑪ 農林業などの一次産業の魅力について
- ⑫ 地域資源を活用した製品開発・販売について
- ⑬ 働く場の確保状況について
- ⑭ 新規企業の誘致状況について
- ⑮ 買い物の便利さ
- ⑯ 通勤・通学・通院などの日常の交通手段
- ⑰ 管外・道外などに行くための交通手段
- ⑱ 快適な住環境について
- ⑲ 情報通信網の整備状況について
- ⑳ 消防・救急体制の整備状況について
- ㉑ 高齢者や障害者福祉について
- ㉒ 保育所・子育て支援について
- ㉓ 子供の遊び場の整備状況
- ㉔ 医療体制(医療施設)の整備状況
- ㉕ 防災(避難場所・耐震)に向けた取り組み
- ㉖ 犯罪対策や防犯対策
- ㉗ 交通安全対策
- ㉘ 学校や図書館の教育環境整備について
- ㉙ 次世代を担う人材育成に関する取り組み
- ㉚ 生涯教育を受ける環境整備について
- ㉛ スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について
- ㉜ 音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について
- ㉝ 市民活動(ゴミ拾いや植樹など)へ参加しやすい社会に向けた取り組み
- ㉞ 郷土愛の向上に向けた取り組み
- ㉟ 町内地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊱ 町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊲ 魅力ある観光地づくりに向けた取り組み
- ㊳ 移住や来訪による地域活力向上に向けた取り組み
- ㊴ 役場からの情報提供・住民の声を聞く体制づくりについて

合計 40名

45歳以上 11名、20～45未満女性 19名

15～18歳 3名、転入者 7名



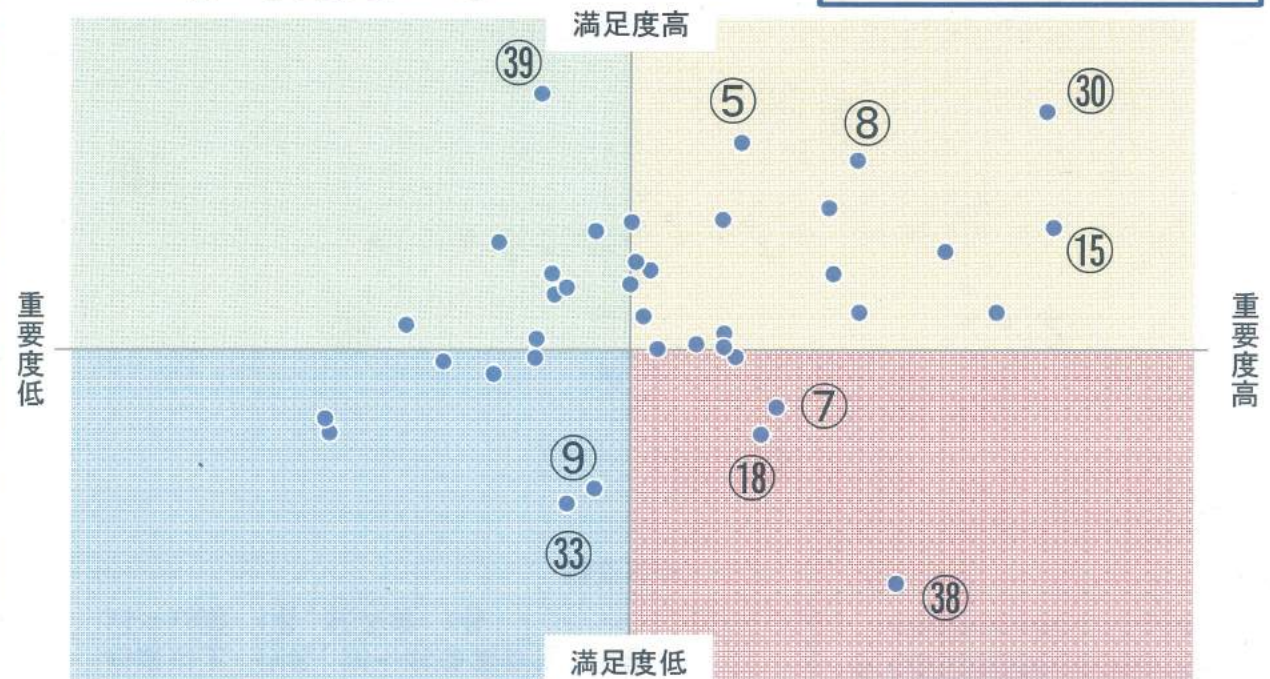
交通安全対策や住環境の整備は一定の満足度があつた。移住・定住や環境美化、生涯教育の環境整備、一次産業のアピール、医療施設、保育所・子育て支援が優先的な施策ニーズとして、防犯対策・新規企業の誘致・市民活動の支援、除雪・排雪対策、高齢者・障害者福祉などが今後の改善施策として挙げた。

CSポートフォリオ分析 (幕別札内農村地域)



- ① 道路舗装や沿道の整備状況について
- ② 上下水道の整備状況について
- ③ 家庭ゴミの処理(分別方法)について
- ④ 宅地造成・住宅整備について
- ⑤ 町並みや景観(公園・建物・看板など)の整備について
- ⑥ 除雪・排雪体制の整備について
- ⑦ 公共料金(水道・ガス・電気)について
- ⑧ 新鮮な水や空気などの生活環境について
- ⑨ 森や川などの自然環境について
- ⑩ 商店街や町内の経済の魅力について
- ⑪ 農林業などの一次産業の魅力について
- ⑫ 地域資源を活用した製品開発・販売について
- ⑬ 働く場の確保状況について
- ⑭ 新規企業の誘致状況について
- ⑮ 買い物の便利さ
- ⑯ 通勤・通学・通院などの日常の交通手段
- ⑰ 管外・道外などに行くための交通手段
- ⑱ 快適な住環境について
- ⑲ 情報通信網の整備状況について
- ⑳ 消防・救急体制の整備状況について
- ㉑ 高齢者や障害者福祉について
- ㉒ 保育所・子育て支援について
- ㉓ 子供の遊び場の整備状況
- ㉔ 医療体制(医療施設)の整備状況
- ㉕ 防災(避難場所・耐震)に向けた取り組み
- ㉖ 犯罪対策や防犯対策
- ㉗ 交通安全対策
- ㉘ 学校や図書館の教育環境整備について
- ㉙ 次世代を担う人材育成に関する取り組み
- ㉚ 生涯教育を受ける環境整備について
- ㉛ スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について
- ㉜ 音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について
- ㉝ 市民活動(ゴミ拾いや植樹など)へ参加しやすい社会に向けた取り組み
- ㉞ 郷土愛の向上に向けた取り組み
- ㉟ 町内地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊱ 町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊲ 魅力ある観光地づくりに向けた取り組み
- ㊳ 移住や来訪による地域活力向上に向けた取り組み
- ㊴ 役場からの情報提供・住民の声を聞く体制づくりについて

合計 57名
45歳以上 28名、20～45未満女性 17名
15～18歳 2名、転入者 10名



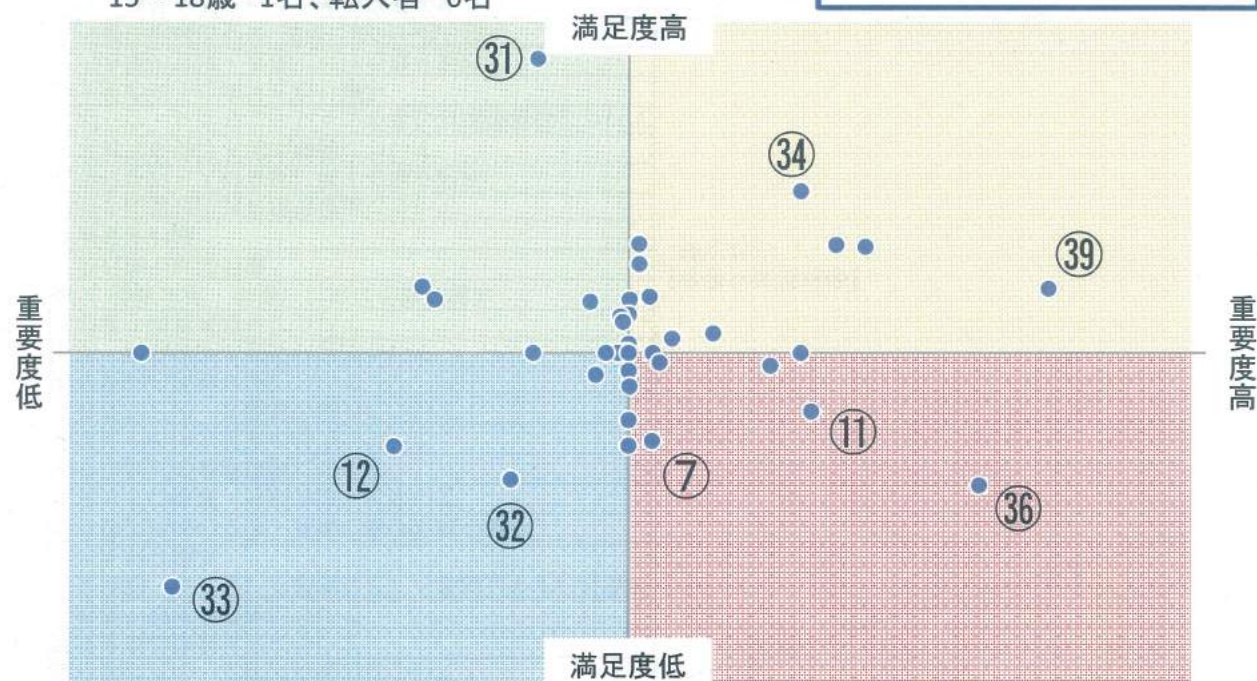
移住・定住、快適な住環境の整備、公共料金の是正が優先的な施策ニーズ、市民活動への支援、自然環境への整備などが今後の改善施策として挙げられた。役場の対応の満足度は高く、生涯教育や芸術教育の環境整備・買い物利便性確保などは重点維持施策として挙げられた。

CSポートフォリオ分析 (忠類農村地域)



- ① 道路舗装や沿道の整備状況について
- ② 上下水道の整備状況について
- ③ 家庭ゴミの処理(分別方法)について
- ④ 宅地造成・住宅整備について
- ⑤ 町並みや景観(公園・建物・看板など)の整備について
- ⑥ 除雪・排雪体制の整備について
- ⑦ 公共料金(水道・ガス・電気)について
- ⑧ 新鮮な水や空気などの生活環境について
- ⑨ 森や川などの自然環境について
- ⑩ 商店街や町内の経済の魅力について
- ⑪ 農林業などの一次産業の魅力について
- ⑫ 地域資源を活用した製品開発・販売について
- ⑬ 働く場の確保状況について
- ⑭ 新規企業の誘致状況について
- ⑮ 買い物の便利さ
- ⑯ 通勤・通学・通院などの日常の交通手段
- ⑰ 管外・道外などに行くための交通手段
- ⑱ 快適な住環境について
- ⑲ 情報通信網の整備状況について
- ⑳ 消防・救急体制の整備状況について
- ㉑ 高齢者や障害者福祉について
- ㉒ 保育所・子育て支援について
- ㉓ 子供の遊び場の整備状況
- ㉔ 医療体制(医療施設)の整備状況
- ㉕ 防災(避難場所・耐震)に向けた取り組み
- ㉖ 犯罪対策や防犯対策
- ㉗ 交通安全対策
- ㉘ 学校や図書館の教育環境整備について
- ㉙ 次世代を担う人材育成に関する取り組み
- ㉚ 生涯教育を受ける環境整備について
- ㉛ スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について
- ㉜ 音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について
- ㉝ 市民活動(ゴミ拾いや植樹など)へ参加しやすい社会に向けた取り組み
- ㉞ 郷土愛の向上に向けた取り組み
- ㉟ 町内地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊱ 町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み
- ㊲ 魅力ある観光地づくりに向けた取り組み
- ㊳ 移住や来訪による地域活力向上に向けた取り組み
- ㊴ 役場からの情報提供・住民の声を聞く体制づくりについて

合計 13名
45歳以上 7名、20～45未満女性 5名
15～18歳 1名、転入者 0名



スポーツ・レクリエーションの環境整備の満足度は概ね高く、郷土愛を高める取り組みや役場の対応は重点維持施策として挙げられた。一次産業の活性化、町外地域との連携の強化や公共料金の是正、上下水道の整備などが優先的な施策ニーズとして挙げられた。

※ サンプル数が少ないため、4象限に分類できないものは、枠の色を無色としている。

CSポートフォリオ分析概要 (1)

	最優先改善施策	改善施策	全地域と比較した特長
全地域	防災(避難場所・耐震)に向けた取り組み	農林業などの一次産業の魅力について	
	町内地域の交流・連携に向けた取り組み	新規企業の誘致状況について	
		高齢者や障害者福祉について	
		市民活動(ゴミ拾いや植樹など)へ参加しやすい社会に向けた取り組み	
		町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み	
札幌市街地		家庭ゴミの処理(分別方法)について	【最優先改善施策】 ・特になし
		森や川などの自然環境について	
		商店街や町内の経済の魅力について	
		農林業などの一次産業の魅力について	
		新規企業の誘致状況について	
		消防・救急体制の整備状況について	
		高齢者や障害者福祉について	
		防災(避難場所・耐震)に向けた取り組み	
		犯罪対策や防犯対策	
		交通安全対策	
		学校や図書館の教育環境整備について	
		次世代を担う人材育成に関する取り組み	
		生涯教育を受ける環境整備について	
		スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について	
		郷土愛の向上に向けた取り組み	
		町内地域の交流・連携に向けた取り組み	
		町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み	
幕別市街地	公共料金(水道・ガス・電気)について	管外・道外などに行くための交通手段	【最優先改善施策】 ・公共料金の是正 ・水質、空気などの生活環境の整備 ・商店街の活性化 ・医療施設の整備 ・高齢者や障害者福祉 ・防災 ・市民活動への支援 ・町内の交流・連携 ・役場対応
	新鮮な水や空気などの生活環境について	子供の遊び場の整備状況	
	商店街や町内の経済の魅力について	交通安全対策	
	高齢者や障害者福祉について	町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み	
	医療体制(医療施設)の整備状況		
	防災(避難場所・耐震)に向けた取り組み		
	市民活動(ゴミ拾いや植樹など)へ参加しやすい社会に向けた取り組み		
	町内地域の交流・連携に向けた取り組み		
	役場からの情報提供・住民の声を聞く体制づくりについて		

CSポートフォリオ分析概要 (2)

	最優先改善施策	改善施策	全地域と比較した特長
忠類市街地	町並みや景観（公園・建物・看板など）の整備について	家庭ゴミの処理（分別方法）について	【最優先改善施策】 ・景観の整備 ・自然環境の整備 ・一次産業の振興 ・町外への交通手段 ・子育て支援 ・医療体制の整備 ・防災 ・生涯教育の環境整備 ・芸術分野の環境整備 ・町外との交流・連携 ・移住定住
	森や川などの自然環境について	除雪・排雪体制の整備について	
	農林業などの一次産業の魅力について	新鮮な水や空気などの生活環境について	
	管外・道外などに行くための交通手段	新規企業の誘致状況について	
	保育所・子育て支援について	高齢者や障害者福祉について	
	医療体制（医療施設）の整備状況	犯罪対策や防犯対策	
	防災（避難場所・耐震）に向けた取り組み	学校や図書館の教育環境整備について	
	生涯教育を受ける環境整備について	スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について	
	音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について	市民活動（ゴミ拾いや植樹など）へ参加しやすい社会に向けた取り組み	
	町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み		
幕別 札内 農村地域	公共料金（水道・ガス・電気）について	森や川などの自然環境について	【最優先改善施策】 ・公共料金の是正 ・地域ブランド商品の開発 ・住環境の整備 ・移住定住
	地域資源を活用した製品開発・販売について	高齢者や障害者福祉について	
	快適な住環境について	子供の遊び場の整備状況	
	移住や来訪による地域活力向上に向けた取り組み	交通安全対策	
		スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境整備について	
		市民活動（ゴミ拾いや植樹など）へ参加しやすい社会に向けた取り組み	
忠類農村地域	上下水道の整備状況について	魅力ある観光地づくりに向けた取り組み	【最優先改善施策】 ・上下水道の整備 ・公共料金の是正 ・一次産業の振興 ・公共交通 ・高齢者福祉 ・町外との交流・連携
	公共料金（水道・ガス・電気）について	除雪・排雪体制の整備について	
	農林業などの一次産業の魅力について	地域資源を活用した製品開発・販売について	
	通勤・通学・通院などの日常の交通手段	音楽や芸術文化などを楽しむ環境整備について	
	高齢者や障害者福祉について	市民活動（ゴミ拾いや植樹など）へ参加しやすい社会に向けた取り組み	
	町外周辺地域の交流・連携に向けた取り組み		

幕別町人口ビジョン（骨子）

I はじめに

- 1 幕別町人口ビジョンの策定の背景・・・・・・・・・・ 1
- 2 幕別町人口ビジョンの位置づけ・・・・・・・・・・ 1
- 3 対象期間・・・・・・・・・・ 1
- 4 人口の目標管理について・・・・・・・・・・ 1

II 人口の現状分析・将来推計

- 1 人口動態の分析・・・・・・・・・・ 2
 - (1) 総人口及び地区別・男女別・年齢3区分別人口・・・・・・・・ 2
 - (2) 自然動態(出生・死亡)・・・・・・・・・・ 3
 - (3) 社会動態(転入・転出)・・・・・・・・・・ 5
 - (4) 自然動態及び社会動態・・・・・・・・・・ 7
 - (5) 産業別人口・・・・・・・・・・ 8
- 2 将来人口の推計・・・・・・・・・・ 11
 - (1) 幕別町の人口推計・・・・・・・・・・ 13
 - (2) 地区別の人口推計・・・・・・・・・・ 14
 - (3) 年齢別の人口推計・・・・・・・・・・ 19
 - (4) 人口動態が地域に及ぼす影響・・・・・・・・・・ 22

III 人口の将来展望・・・・・・・・・・ 22

- 1 目指すべき将来の展望・・・・・・・・・・ 22
- 2 人口の将来展望・・・・・・・・・・ 22

I はじめに

1 幕別町人口ビジョンの策定の背景

全国的に少子高齢化が進行する中、国では平成 26 年に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、国や各地方自治体が総力を挙げ人口減少の克服と地域の活性化による「地方創生」に向け取り組もうとしております。

幕別町の人口は、住民基本台帳では、平成 17 年度末の 27,482 人から、平成 26 年度末の 27,596 人と 10 年間でほぼ同じであります。3 地区（幕別地区・札内地区・忠類地区）間における人口の偏りが目立ち、死亡者数が出生者数を上回るなど、将来的には町全体の人口も減少すると推計されております。

このため、幕別町においても、地方創生に向けた今後 5 か年の施策の方向性を位置づける「幕別町創生総合戦略」を平成 27 年度中に策定し、町の総力を結集して地方創生に取り組んでまいりたいと考えています。そこで、「幕別町創生総合戦略」を策定するにあたり、幕別町の人口の現状を分析し、将来の目指すべき方向の根拠となる「幕別町人口ビジョン」を策定します。

2 幕別町人口ビジョンの位置づけ

「幕別町人口ビジョン」は、幕別町におけるこれまでの人口動向や将来の人口推計を町内の各地域別に分析・考察し、今後、幕別町が将来目指すべき方向とそれに伴う将来の人口の展望を提示し、国が定めた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」に則しながらも、幕別町の地域特性を考慮した地方創生施策を策定する上での基礎根拠資料として位置付けます。

3 対象期間

国の長期ビジョンの期間である 2060（平成 72）年までとします。

4 人口の目標管理

(1) 趣旨

人口の目標管理には、「住民基本台帳（以下、住基と言う）人口」、「国勢調査人口」などによる方法があるが、町が管理しリアルタイムで動態を把握できる住基人口を使用する。ただし、他自治体との比較や過去の分析において、必要に応じて国勢調査人口を併用する。

(2) 住基人口を採用する理由

① 町が管理している住民情報であるため 住基は、居住の公証や行政サービスの事務処理のため、住民基本台帳法に基づき町が管理している住民情報である。

② リアルタイムに把握できる情報であるため

住基人口はリアルタイムに町が管理している情報であるため、どの時点をとっても人口情報を抽出することができる。一方、国勢調査は 5 年ごとに実施され、かつ結果の詳細発表が調査時点から 1 年の時間を要するためリアルタイム性に欠ける。

(3) 住基人口の課題及び対応

① 居住実態との誤差

住基に登録されていても実際に住んでいないケースがある。このため、正しい住基登録について情報提供を行っていく必要がある。

住民には届出義務が、町には住民に関する正確な記録が行われるように努める責務が課せられており、実態に合った記録が行われるよう努める必要がある。

② 道やメディア等で取り上げられる人口との違い

道は国勢調査をベースにした人口を推計しているため、住基人口とは一致せず、またメディアで取り上げられている人口は住基人口をもとにしている場合が多い。このため、町民に誤解や混乱を招く可能性があるため、町の目標人口を公表するときは、住基人口である旨を明記する。

II 人口動向分析

1 人口動態の分析

(1) 総人口及び地区別・男女別・年齢3区分別人口

①総人口の動態（地区別）

札内地区は、これまでの宅地造成に伴い、80年代から2000年にかけて200人～600人/年の増加を示し、2000年以降から現在までは、ゆるやかな増加傾向にあります。幕別地区及び忠類地区（旧忠類村含む）は、90年代後半からゆるやかな減少傾向にあります。



図1. 総人口の動態（総人口×地域別）

出典：幕別町「住基人口」各年3月末

※ 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の人口を総人口に加算
(合併日：2006年2月6日)

②総人口の動態（男女別）

全ての年において女性が男性の人口を上回っておりますが（旧忠類村除く）、80年代後半から男女の人口の差が徐々に拡大する傾向にあります。2000年代にその差は1,000人を上回り、ここ数年においては、1,200人以上の差を示し、その差はさらに拡大しています。

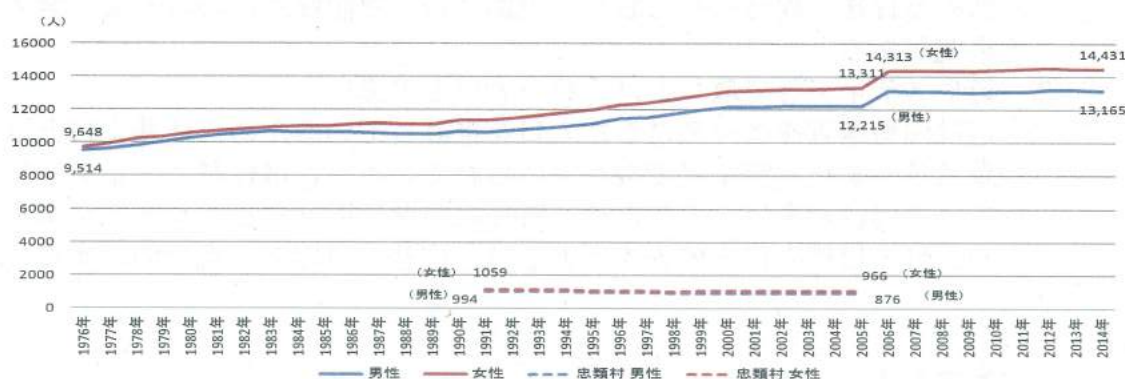


図2. 総人口の動態（総人口×男女別）

出典：幕別町「住基人口」各年3月末

※ 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の人口を総人口に加算
（合併日：2006年2月6日）

③総人口の動態（年齢別）

生産年齢人口（15～64歳）はほぼ横ばい傾向であります。年少人口（0歳～15歳）は微減傾向、老年人口（65歳以上）は増加傾向であり、高齢化率は、年々増加しています。



図3. 総人口の動態（総人口×年齢3区分別）

出典：幕別町「住基人口」各年3月末

※ 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の人口を総人口に加算
（合併日：2006年2月6日）

(2) 自然動態（出生・死亡）

①人口の自然増減

2000年代まで自然増が優勢ではありましたが、70年代から90年代にかけて徐々に出生数の減少に伴い、2000年代から自然減が優勢の傾向を示しています。



図4. 人口の自然増減の推移（左図は、自然増と自然減の差分）

出典：幕別町「住基人口」各年3月末

※ 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の人口を総人口に加算
（合併日：2006年2月6日）

※3 台帳上「その他」は、除く。

②地域別の出生率

出生率（期間合計特殊出生率）は、各地域とも2011年において1人を下回っておりましたが、忠類農村地域を除き、概ね1～1.5人を確保しています。

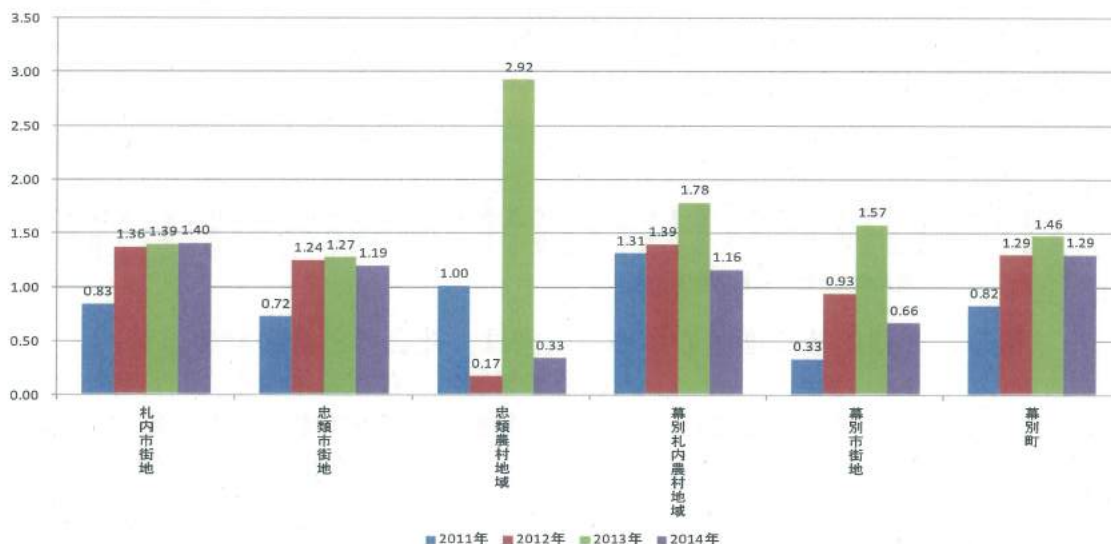


図5. 地域別の出生率の推移

出典：幕別町「住基人口」

※「期間合計特殊出生率」：女性が出産可能な年齢を15歳から49歳までと規定し、各々の出生率を算出し合わせることで、人口構成の偏りを排除し、1人の女性が一生に産む子供の数の平均を求める。

※行政区に対応する地域分類

- ①幕別市街地：幸町、本町1、本町2、本町3、錦町1、錦町2、寿町1、寿町2、寿町3、宝町、南町1、南町2、緑町1、緑町2、緑町3、緑町4、新町、旭町1、旭町2、旭町4
- ②札幌市街地：西町1、西町2、桜町北、桜町中央、桜町南、北町1、北町2、北町3、北栄町1、北栄町2、共栄町1、共栄町2、共栄町3、新北町西、新北町東、豊町、曙町東、曙町西、曙町北、桂町1、桂町2、桂町3、若草町1、若草町2、若草町3、中央町1、中央町2、中央町3、青葉町1、青葉町2、文京町、あかしや、あかしや中央、あかしや南1、あかしや南2、泉町、泉東、春日町、東春日町、みずほ町
- ③忠類市街地：忠類栄町、忠類幸町、忠類本町、忠類錦町、忠類白銀町
- ④幕別札幌農村地域：豊岡1、豊岡2、新和、西猿別、猿別、軍岡、南勢、大豊、明野北、明野南、新川、相川、相川東、相川西、相川南、相川北、糠内市街、五位、糠内第一、中糠内、西糠内、明倫、美川、中里、駒畠、古舞、途別、上稲士別、札幌区、日新1、日新2、昭和、依田、西和、千住1、千住2、千住東、稲士別、新生、中稲士別
- ⑤忠類農村地域：忠類西当、忠類上忠類、忠類上当、忠類東宝、忠類元忠類、忠類幌内、忠類新生、忠類豊成、忠類晩成

(3) 社会動態（転入・転出）

①人口の社会増減

70年代前半及び80年代後半は、社会減が超過する傾向にありましたが、90年代前半には急激な社会増があり、現在も社会増が優勢の状況にあります。



図6. 人口の社会増減の推移（左図は、社会増と社会減の差分）

出典：幕別町「住民基本台帳人口」各年3月末

※ 本統計上では、2006年の数値から旧忠類村の人口を総人口に加算

（合併日：2006年2月6日）

※ 台帳上「その他」は、除く。

②年齢階級別社会増減数

就職や進学に伴い若年年齢層は転出が超過し、20～29歳に転入超過の傾向にあります。2000年代からは200人を下回る傾向となっています。

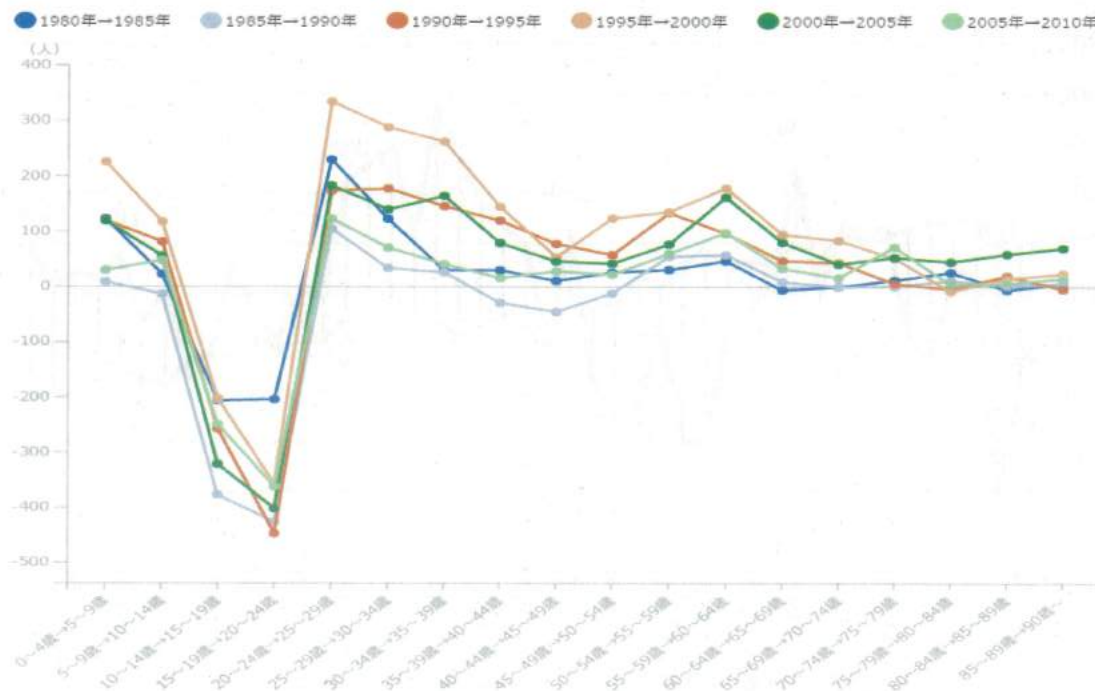


図7. 年齢階級別純移動数の時系列分析

出展：「国勢調査」、「住民基本台帳人口移動報告」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

③転出先と転入先

住基人口における2011年～2014年の4年間の社会動態については、転出入ともに帯広市が多数を占め、次いで、音更町との転出入の順になります。十勝振興局圏内においては、本町は転入超過の傾向にあります。

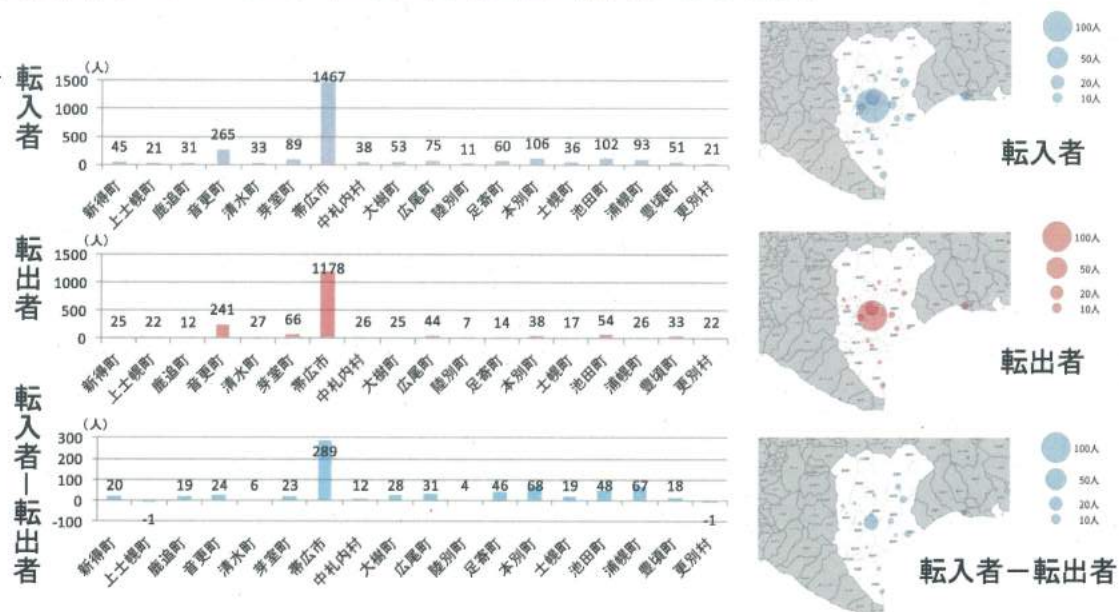


図8. 転出先及び転入元

出典：幕別町「住基人口」(2011～2014) 各年3月末

※ 地図におけるサークルの中心は、各自治体の役場所在地

(4) 自然動態及び社会動態

2000年代から自然減の傾向が始まりますが、社会増に伴いまして、現在は全体として人口が安定している状態にあります。

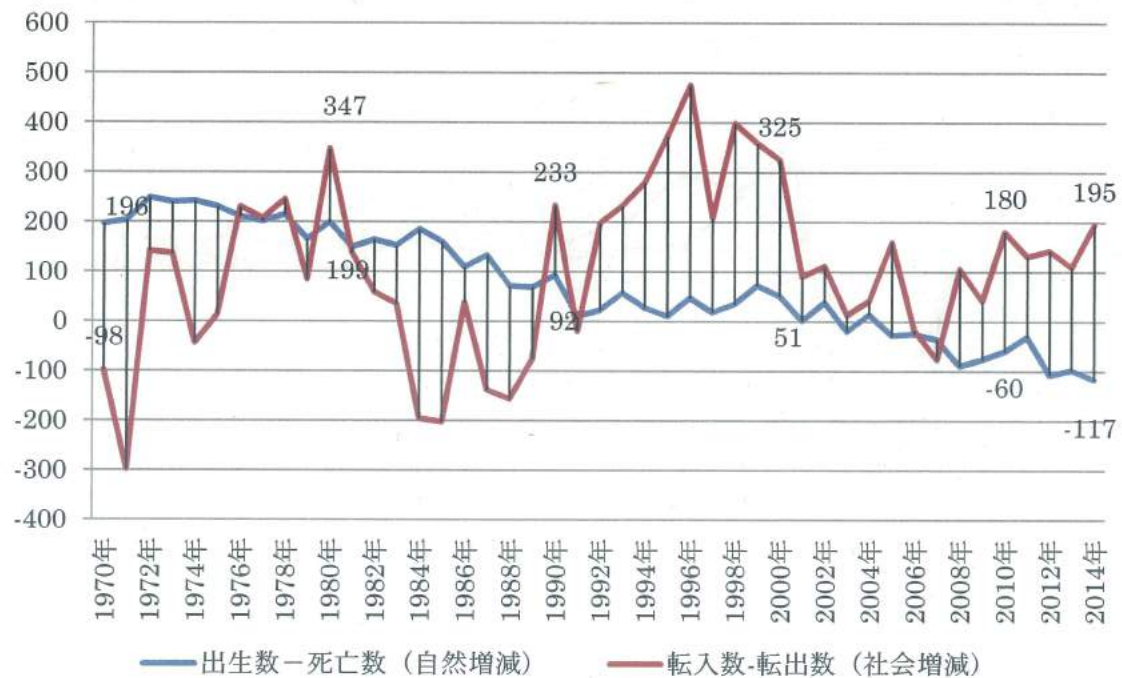


図9. 人口の自然増減・社会増減の推移

出典：幕別町「住基人口」各年度の自然動態及び社会動態

(5) 産業別人口

①地域別産業分類

第一次産業（農林水産業）は、幕別札内農村地域で2,000人程度と最も多く、地域内就業者の65%を占めています。忠類農村地域は8割以上が第一次産業に携わっている。3市街地においては第三次産業（サービス業等）に従事する方が多数を占め、札内市街地では6,000人程度が携わっています。

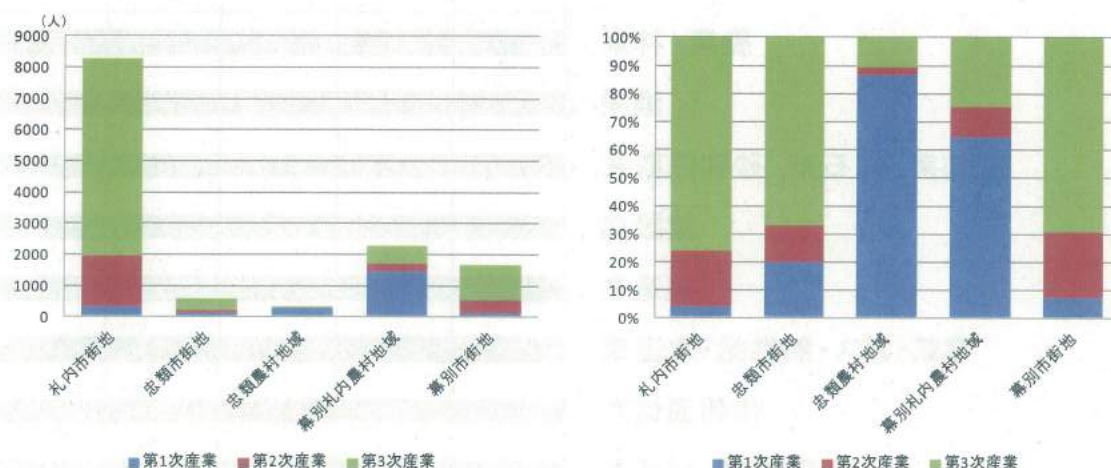


図 10. 地域別産業分類の実数及び割合

出典：「国勢調査」(2010)

②男女別産業分類

町全体では、農業・林業、建設業、卸売・小売業、医療・福祉に従事する方が多い傾向です。男性は、農業・林業、建設業、卸売・小売業に集中し、女性は、農業・林業、卸売・小売業、医療・福祉に集中しています。

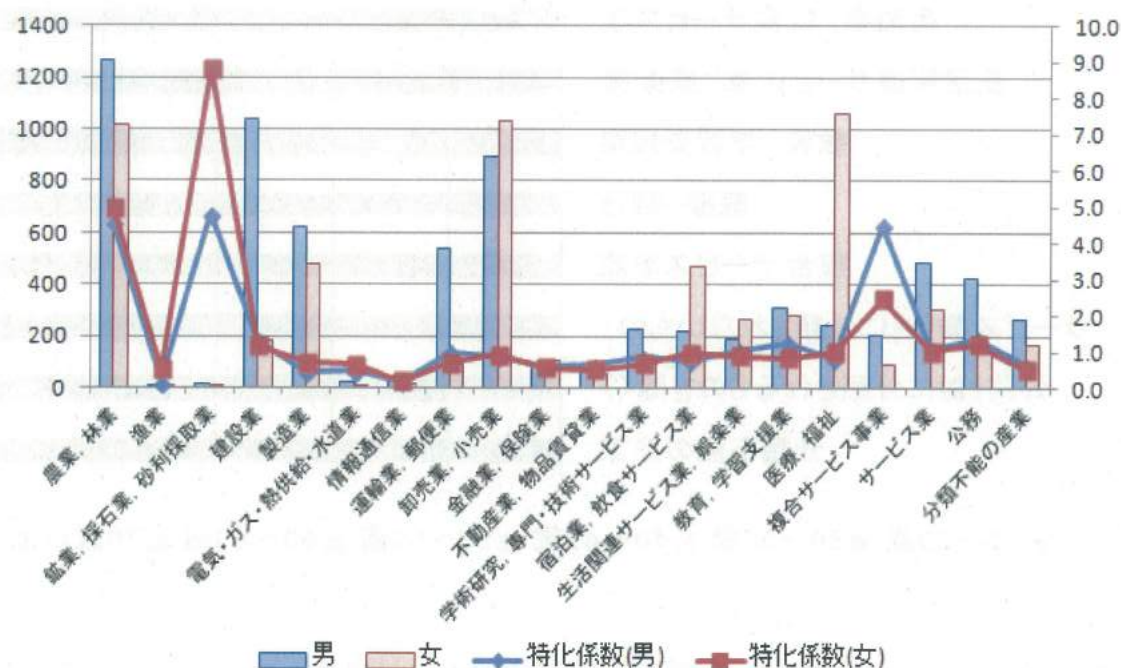


図 11. 男女別産業人口と特化係数

出典：「国勢調査」(2010)

※ 特化係数 幕別町と全国の就業者比率を比較したもの。高いほど、その産業に関わる就業者率が高い。

③年齢階級別産業分類（男性）

製造業、宿泊業・サービス業、医療・福祉、複合サービス事業は就業者の年齢層が比較的低く、農業・林業、鉱業・採石業・砂利採取業、サービス業は比較的年齢層が高くなっています。

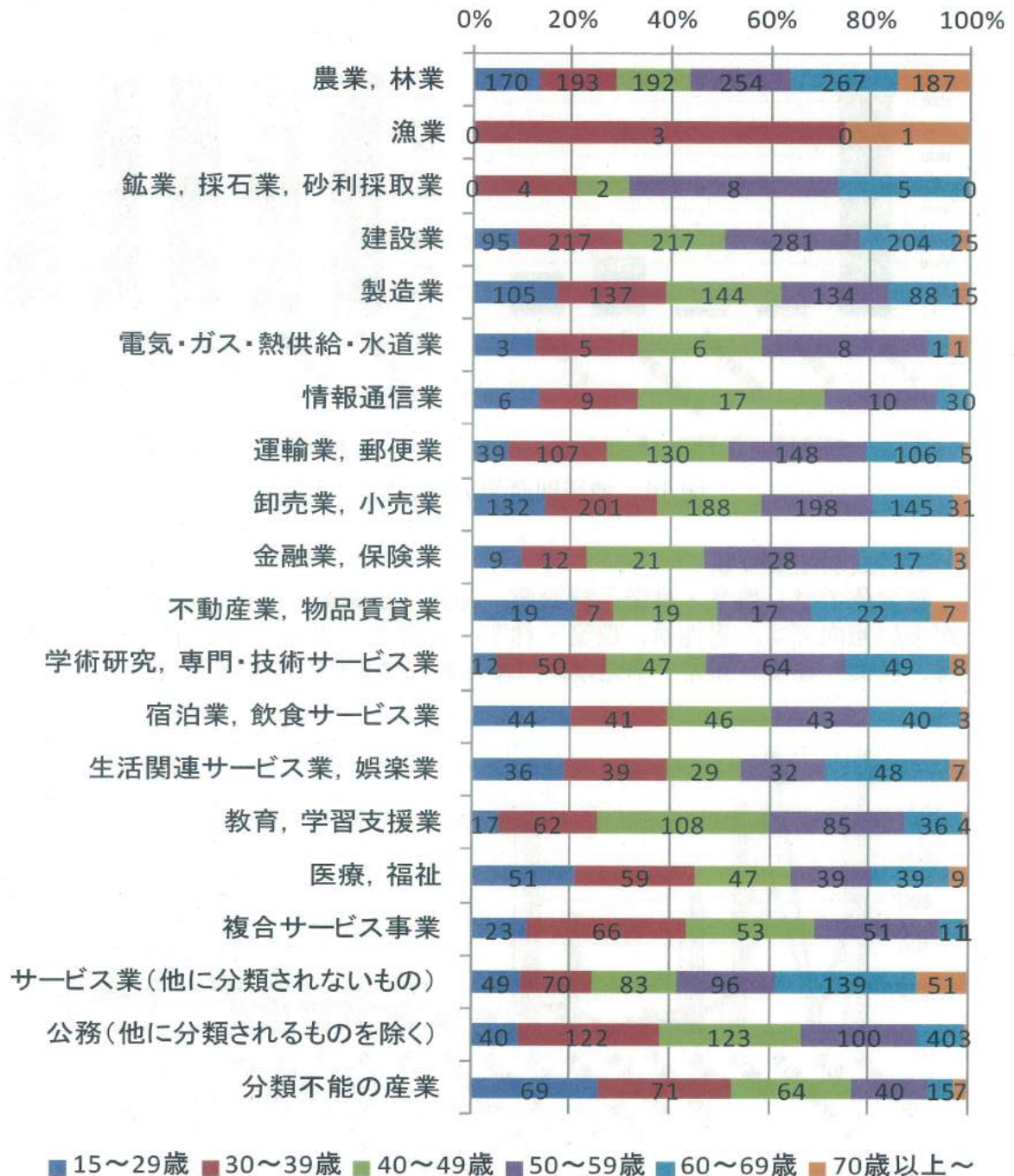


図 12. 年齢階級別産業別人口（男性）

出典：「国勢調査」（2010）

④年齢階級別産業分類（女性）

情報通信業、複合サービス事業は就業者の年齢層が比較的低く、農業・林業、サービス業、建設業は比較的年齢層が高くなっています。

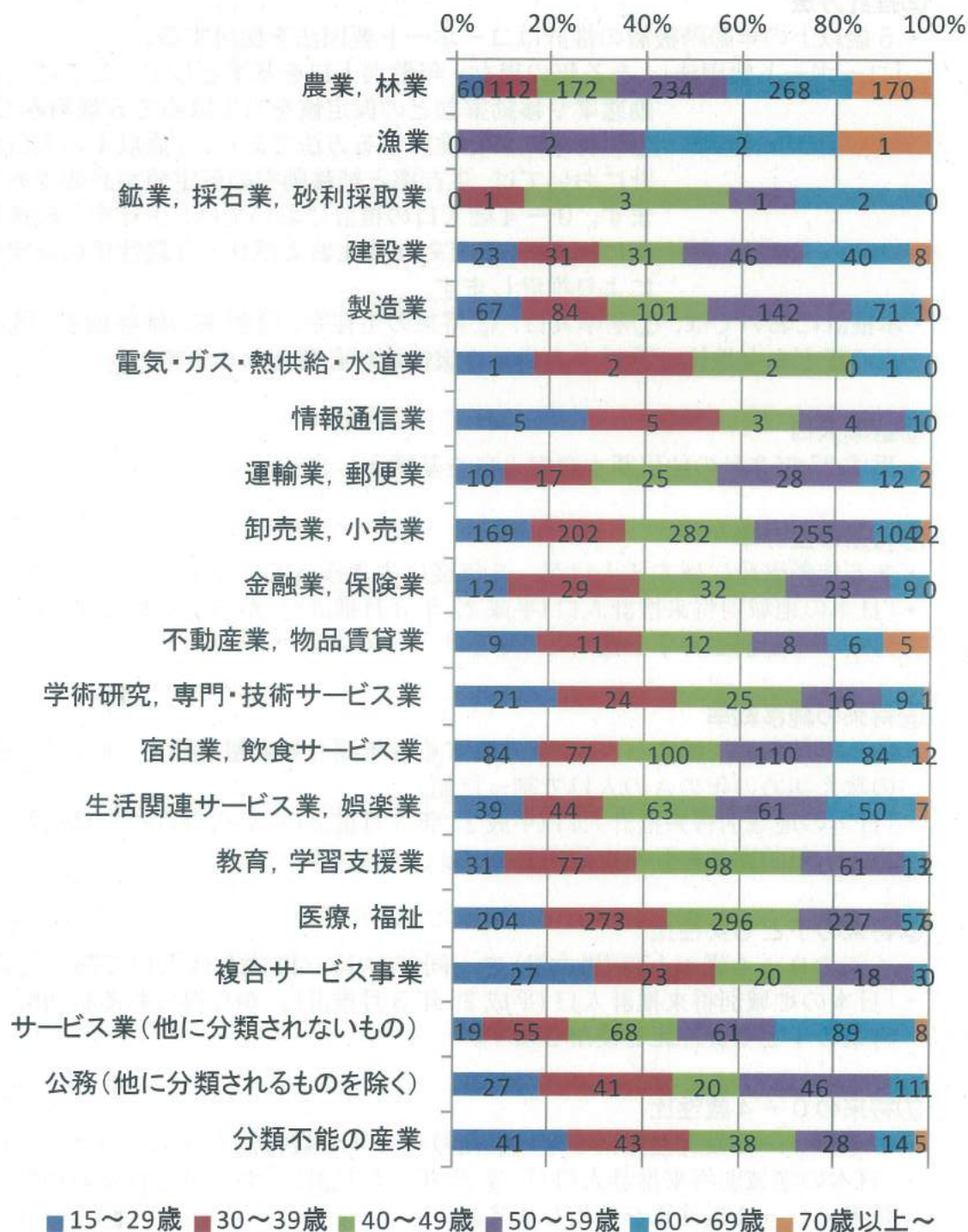


図 13. 年齢階級別産業別人口（女性）

出典：「国勢調査」（2010）

2 将来人口の推計

①推計期間

- 平成 72 年 (2060 年) までの 5 年ごと。

②推計方法

- ・ 5 歳以上の年齢階級層の推計はコーホート要因法を使用する。
- ・ 「コーホート要因法」：ある年の男女・年齢別人口を基準として、ここに人口動態率や移動率などの仮定値を当てはめて 5 歳刻みごとの将来人口を推計する方法であり、5 歳以上の人口推計においては、生存率と純移動率の仮定値が必要であります。0 - 4 歳人口の推計においては、生存率と純移動率に加えて、子ども女性比および 0 - 4 歳性比の仮定値により推計します。
- ・ 本推計においては、①基準人口、②将来の生存率、③将来の純移動率、④将来の子ども女性比、⑤将来の 0 - 4 歳性比が必要となります。

③基準人口

- ・ 平成 27 年 3 月の住民基本台帳人口を基準とします。

④将来の生存率

- ・ ある年齢階級に属する人口が、5 年後に生き残っている率。
- ・ 「日本の地域別将来推計人口 (平成 25 年 3 月推計)」から得られる幕別町の男女・年齢別生存率を使用します。

⑤将来の純移動率

- ・ ある年齢階級に属する人口 (A) に関する 5 年間の転入超過数を、転入超過数の数え初めの年の A の人口で割った値。
- ・ 「日本の地域別将来推計人口 (平成 25 年 3 月推計)」から得られる幕別町の男女・年齢別純移動率を使用します。

⑥将来の子ども女性比

- ・ t 年の 0 - 4 歳の人口 (男女計) を、同年の 15 - 49 歳女性人口で割った値。
- ・ 「日本の地域別将来推計人口 (平成 25 年 3 月推計)」から得られる幕別町の将来の子ども女性比を使用します。

⑦将来の 0 - 4 歳性比

- ・ t 年の 0 - 4 歳女性人口 100 人あたりの 0 - 4 歳男性人口。
- ・ 「日本の地域別将来推計人口 (平成 25 年 3 月推計)」から得られる幕別町の将来の 0 - 4 歳性比を使用します。

⑧推計のパターン

次の7パターンにより将来人口を推計します。

ア 平成27年3月末の住基人口を基準人口として、「国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」と言う。）」の推計方法により推計した場合

（出生率：1.24(2020年)、1.23(2030年)、1.30(2040年)、1.30(2060年)）

イ 推計1 国の長期ビジョンに基づき推計

（出生率：合計特殊出生率が1.6(2020年)、1.8(2030年)、2.07(2040)、社人研移動率に準拠）

ウ 推計2 国の長期ビジョンに基づき推計

（出生率：合計特殊出生率が1.6(2020年)、1.8(2030年)、2.07(2040)、移動率をゼロと仮定）

エ 推計3 住民アンケート結果の希望子ども人数から算出した20歳～39歳の町の合計特殊出生率による推計

（出生率：合計特殊出生率が1.55、社人研移動率に準拠）

オ 推計4 住民アンケート結果の希望子ども人数から算出した20歳～39歳の町の合計特殊出生率による推計

（出生率：合計特殊出生率が1.55、移動率をゼロと仮定）

カ 推計5 住民アンケート結果の希望子ども人数から算出した20歳～39歳の地域別の合計特殊出生率による推計

（地域別の合計特殊出生率：札幌市街地 1.63、幕別市街地 1.49、忠類市街地 1.38、幕別札幌農村地域 2.06、忠類農村地域 2.16、社人研移動率に準拠）

キ 推計6 住民アンケート結果の希望子ども人数から算出した20歳～39歳の地域別の合計特殊出生率による推計

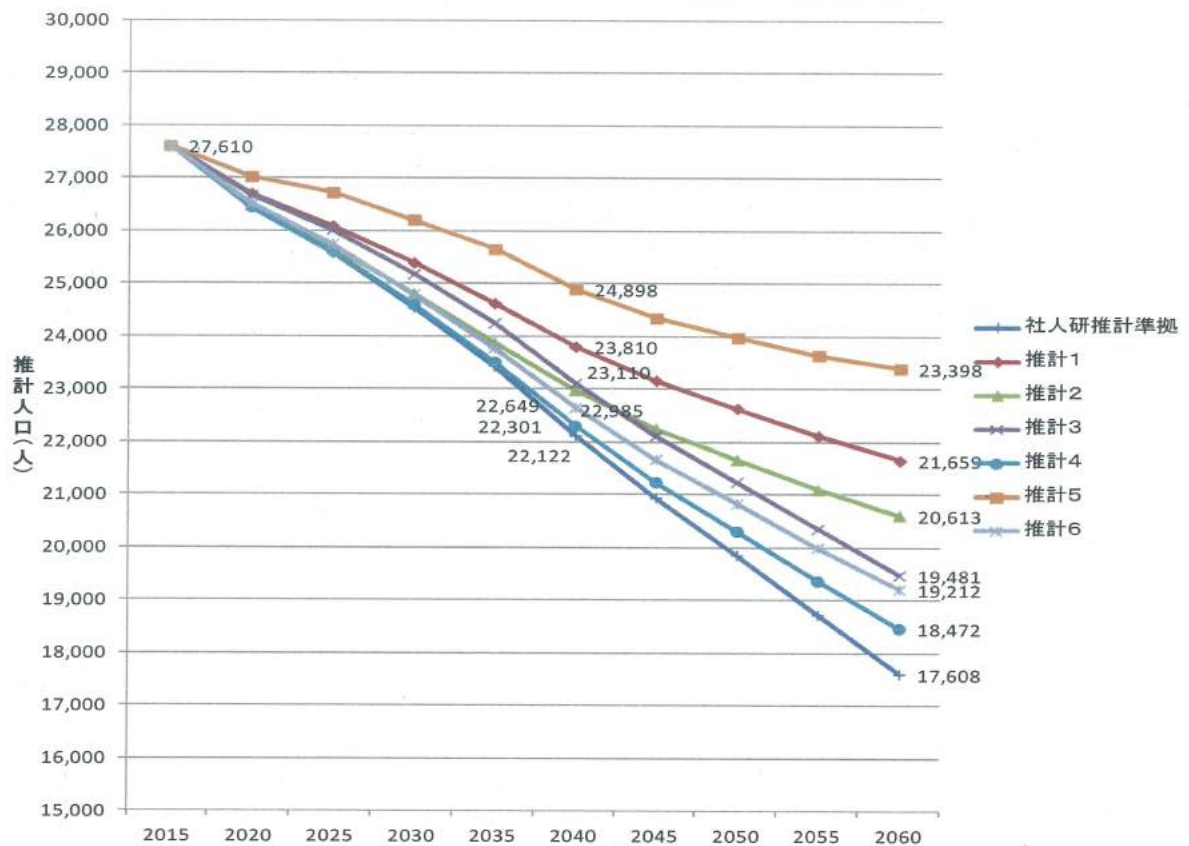
（地域別の合計特殊出生率：札幌市街地 1.63、幕別市街地 1.49、忠類市街地 1.38、幕別札幌農村地域 2.06、忠類農村地域 2.16、移動率をゼロと仮定）

(1)幕別町の将来人口

	社人研推計準拠	推計 1	推計 2	推計 3	推計 4	推計 5	推計 6
2015	27,610	27,610	27,610	27,610	27,610	27,610	27,610
2020	26,446	26,705	26,485	26,672	26,452	27,026	26,521
2025	25,581	26,091	25,681	26,025	25,616	26,725	25,753
2030	24,545	25,399	24,816	25,179	24,600	26,211	24,800
2035	23,437	24,633	23,881	24,253	23,514	25,661	23,784
2040	22,122	23,810	22,985	23,110	22,301	24,898	22,649
2045	20,942	23,168	22,257	22,122	21,238	24,351	21,673
2050	19,858	22,640	21,668	21,251	20,309	23,983	20,837
2055	18,729	22,123	21,099	20,355	19,368	23,645	19,997
2060	17,608	21,659	20,613	19,481	18,472	23,398	19,212
2015-2040 増減率	-19.88%	-13.76%	-16.75%	-16.30%	-19.23%	-9.82%	-17.97%
2015-2060 増減率	-36.23%	-21.56%	-25.34%	-29.44%	-33.10%	-15.26%	-30.42%
2060 (0-14 歳)	1,858	3,741	3,566	2,562	2,440	4,287	2,747
2060 (15-64 歳)	9,501	11,669	11,622	10,670	10,605	12,863	11,038
2060 (65 歳-)	6,249	6,249	5,425	6,249	5,425	6,249	5,426
2060 高齢化率	35.49%	28.85%	26.32%	32.08%	29.37%	26.71%	28.24%

※社人研推計準拠：平成 27 年 3 月末の住基人口を基準人口として、社人研の推計方法により推計した値
(出生率：1.24(2020 年)、1.23(2030 年)、1.30(2040 年)、1.30(2060 年))

将来人口のシミュレーション(幕別町)



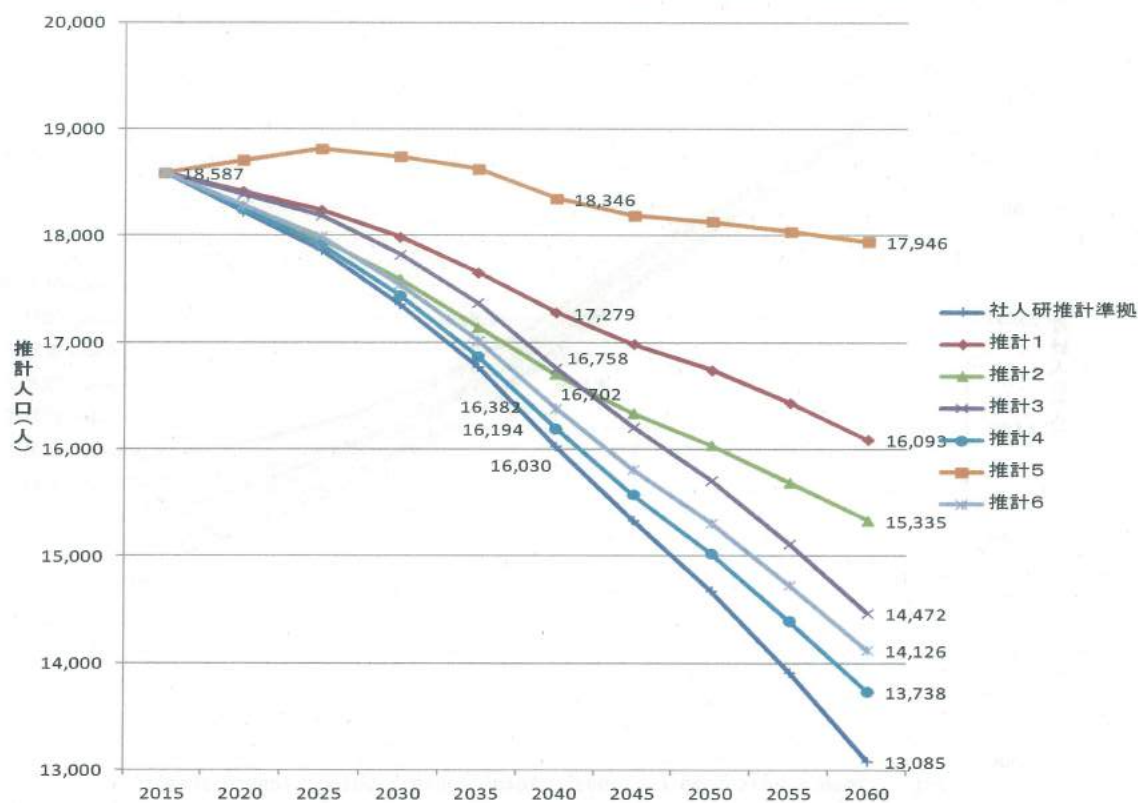
(2)地区別の人口推計

①札幌市街地

	社人研推計準拠	推計1	推計2	推計3	推計4	推計5	推計6
2015	18,587	18,587	18,587	18,587	18,587	18,587	18,587
2020	18,224	18,413	18,273	18,388	18,248	18,704	18,287
2025	17,864	18,238	17,969	18,189	17,921	18,812	17,996
2030	17,358	17,987	17,597	17,824	17,438	18,741	17,547
2035	16,772	17,653	17,142	17,372	16,870	18,622	17,017
2040	16,030	17,279	16,702	16,758	16,194	18,346	16,382
2045	15,337	16,985	16,339	16,207	15,580	18,187	15,814
2050	14,678	16,742	16,041	15,708	15,028	18,133	15,310
2055	13,916	16,435	15,690	15,118	14,399	18,037	14,732
2060	13,085	16,093	15,335	14,472	13,738	17,946	14,126
2015-2040 増減率	-13.76%	-7.04%	-10.14%	-9.84%	-12.87%	-1.29%	-11.86%
2015-2060 増減率	-29.60%	-13.42%	-17.50%	-22.14%	-26.09%	-3.45%	-24.00%
2060(0-14 歳)	1,390	2,792	2,664	1,914	1,824	3,440	1,979
2060(15-64 歳)	7,113	8,719	8,690	7,976	7,933	9,923	8,166
2060(65 歳-)	4,582	4,582	3,981	4,582	3,981	4,582	3,981
2060 高齢化率	35.02%	28.47%	25.96%	31.66%	28.98%	25.53%	28.18%

※社人研推計準拠：平成 27 年 3 月末の住基人口を基準人口として、社人研の推計方法により推計した値
(出生率：1.24(2020 年)、1.23(2030 年)、1.30(2040 年)、1.30(2060 年))

将来人口のシミュレーション(札幌市街地)

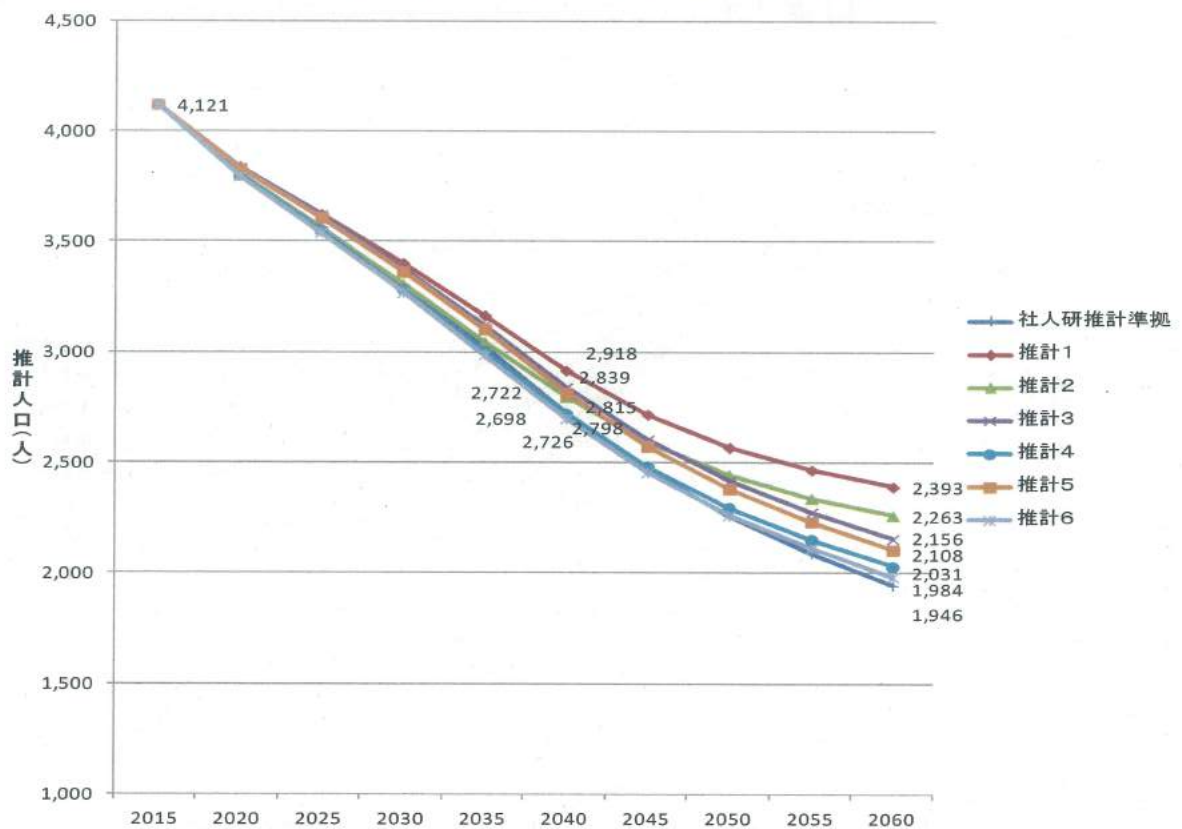


②幕別市街地

	社人研推計準拠	推計1	推計2	推計3	推計4	推計5	推計6
2015	4,121	4,121	4,121	4,121	4,121	4,121	4,121
2020	3,808	3,839	3,804	3,835	3,800	3,830	3,795
2025	3,565	3,625	3,558	3,618	3,551	3,607	3,541
2030	3,305	3,403	3,307	3,379	3,283	3,364	3,269
2035	3,029	3,166	3,047	3,123	3,006	3,103	2,987
2040	2,726	2,918	2,798	2,839	2,722	2,815	2,698
2045	2,469	2,719	2,596	2,603	2,484	2,574	2,455
2050	2,260	2,570	2,445	2,418	2,297	2,382	2,262
2055	2,092	2,468	2,340	2,275	2,153	2,234	2,112
2060	1,946	2,393	2,263	2,156	2,031	2,108	1,984
2015-2040 増減率	-33.85%	-29.19%	-32.10%	-31.11%	-33.95%	-31.70%	-34.53%
2015-2060 増減率	-52.78%	-41.93%	-45.09%	-47.68%	-50.72%	-48.85%	-51.86%
2060(0-14 歳)	195	399	379	272	258	253	240
2060(15-64 歳)	1,000	1,243	1,234	1,133	1,123	1,104	1,093
2060(65 歳-)	751	751	650	751	650	751	650
2060 高齢化率	38.59%	31.38%	28.72%	34.83%	32.00%	35.63%	32.76%

※社人研推計準拠：平成 27 年 3 月末の住基人口を基準人口として、社人研の推計方法により推計した値
(出生率：1.24(2020 年)、1.23(2030 年)、1.30(2040 年)、1.30(2060 年))

将来人口のシミュレーション(幕別市街地)

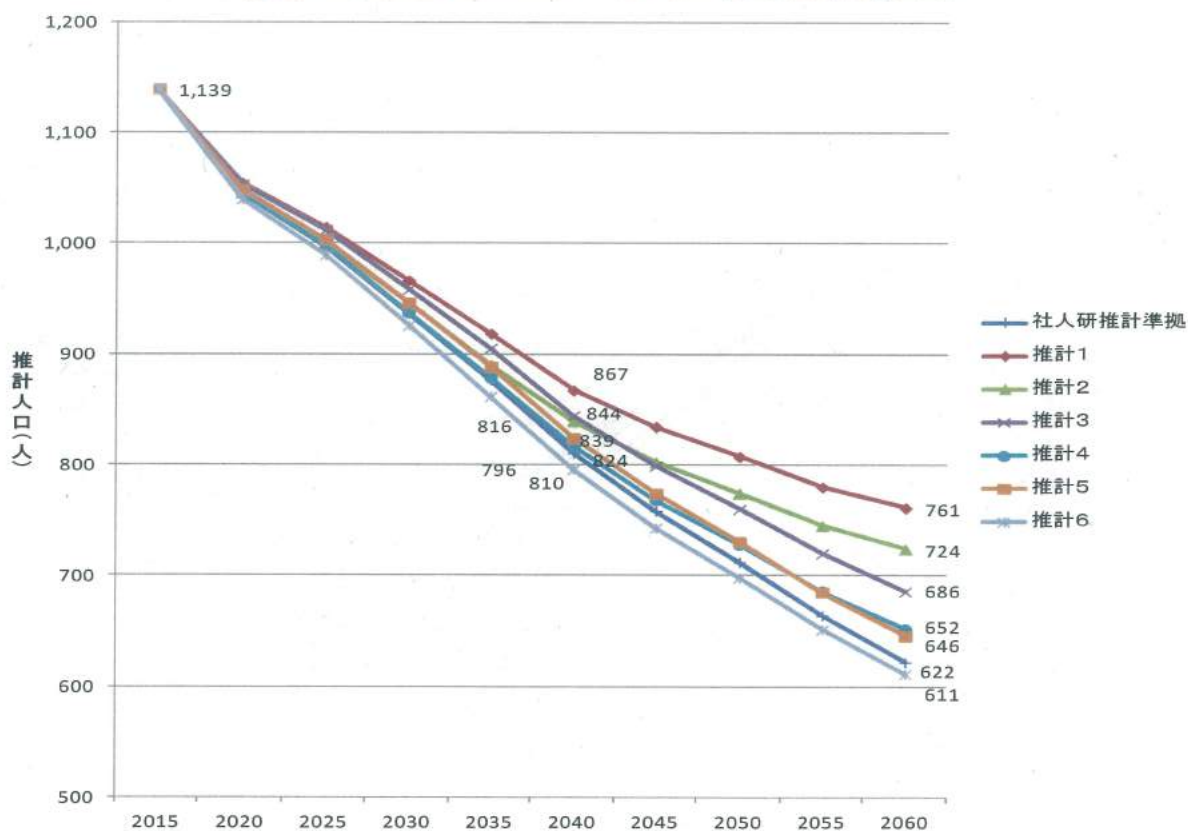


③忠類市街地

	社人研推計準拠	推計1	推計2	推計3	推計4	推計5	推計6
2015	1,139	1,139	1,139	1,139	1,139	1,139	1,139
2020	1,044	1,054	1,045	1,053	1,044	1,048	1,039
2025	996	1,014	1,000	1,012	998	1,003	989
2030	936	966	945	958	937	946	925
2035	876	918	890	905	878	888	862
2040	810	867	839	844	816	824	796
2045	758	834	802	799	768	774	743
2050	712	807	774	760	728	730	698
2055	664	780	745	720	686	685	651
2060	622	761	724	686	652	646	611
2015-2040 増減率	-28.88%	-23.88%	-26.34%	-25.90%	-28.36%	-27.66%	-30.12%
2015-2060 増減率	-45.39%	-33.19%	-36.44%	-39.77%	-42.77%	-43.28%	-46.36%
2060(0-14 歳)	64	129	122	88	84	72	68
2060(15-64 歳)	332	406	405	372	370	348	346
2060(65 歳-)	226	226	197	226	197	226	197
2060 高齢化率	36.33%	29.70%	27.21%	32.94%	30.21%	34.98%	32.24%

※社人研推計準拠：平成 27 年 3 月末の住基人口を基準人口として、社人研の推計方法により推計した値
(出生率：1.24(2020 年)、1.23(2030 年)、1.30(2040 年)、1.30(2060 年))

将来人口のシミュレーション(忠類市街地)

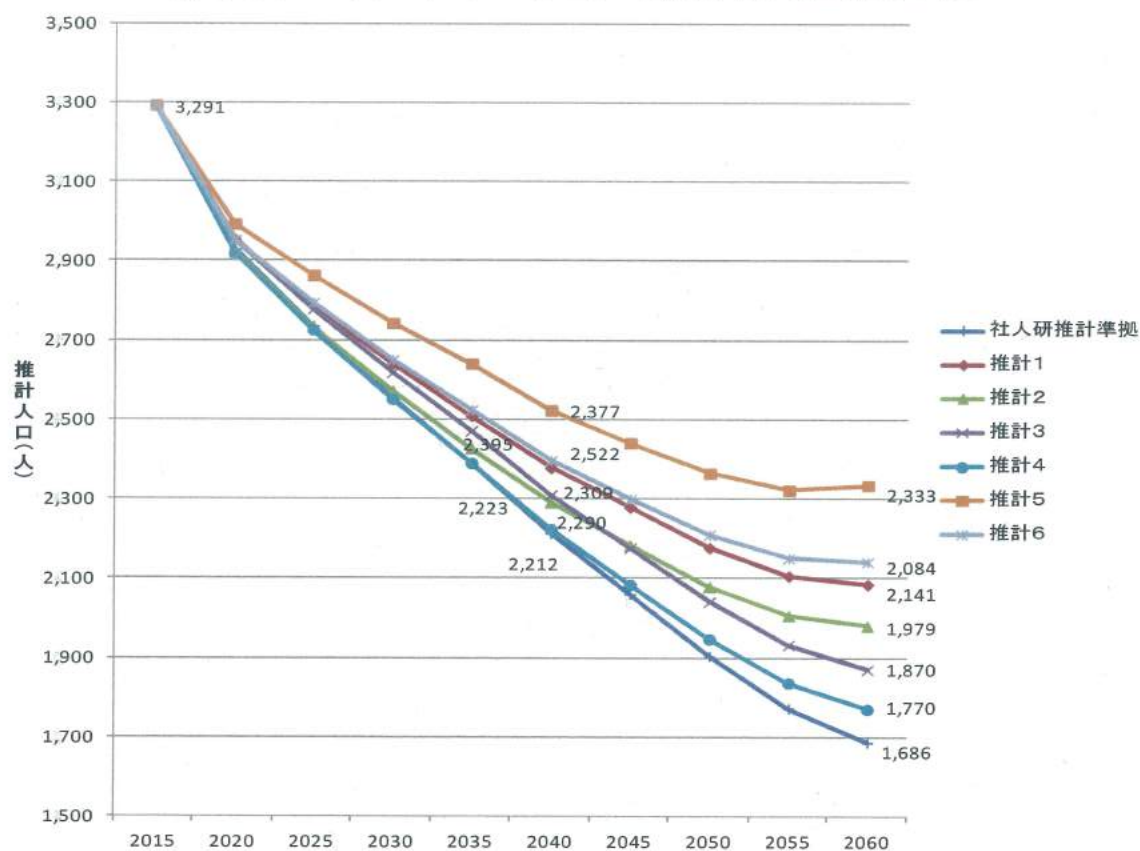


④幕別札内農村地域

	社人研推計準拠	推計1	推計2	推計3	推計4	推計5	推計6
2015	3,291	3,291	3,291	3,291	3,291	3,291	3,291
2020	2,928	2,953	2,921	2,950	2,918	2,991	2,952
2025	2,735	2,785	2,732	2,778	2,725	2,862	2,793
2030	2,554	2,639	2,571	2,617	2,550	2,741	2,649
2035	2,389	2,508	2,426	2,470	2,389	2,639	2,523
2040	2,212	2,377	2,290	2,309	2,223	2,522	2,395
2045	2,059	2,278	2,182	2,176	2,083	2,440	2,299
2050	1,903	2,176	2,078	2,040	1,946	2,363	2,208
2055	1,772	2,105	2,005	1,932	1,836	2,321	2,150
2060	1,686	2,084	1,979	1,870	1,770	2,333	2,141
2015-2040 増減率	-32.79%	-27.77%	-30.42%	-29.84%	-32.45%	-23.37%	-27.22%
2015-2060 増減率	-48.77%	-36.68%	-39.87%	-43.18%	-46.22%	-29.11%	-34.94%
2060(0-14 歳)	183	368	350	252	239	455	396
2060(15-64 歳)	915	1,128	1,120	1,030	1,021	1,290	1,236
2060(65 歳-)	588	588	509	588	509	588	509
2060 高齢化率	34.88%	28.21%	25.72%	31.44%	28.76%	25.20%	23.78%

※社人研推計準拠：平成 27 年 3 月末の住基人口を基準人口として、社人研の推計方法により推計した値
(出生率：1.24(2020 年)、1.23(2030 年)、1.30(2040 年)、1.30(2060 年))

将来人口のシミュレーション(幕別札内農村地域)

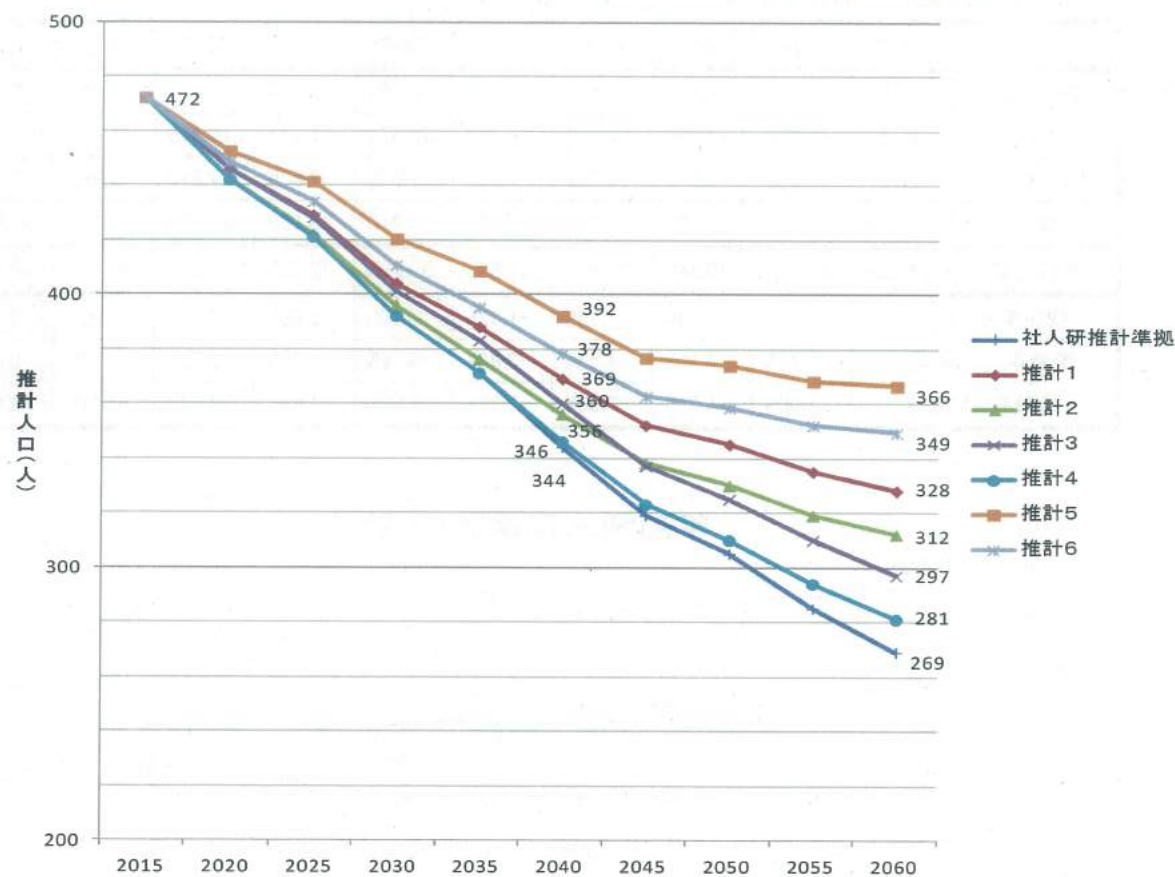


⑤忠類農村地域

	社人研推計準拠	推計1	推計2	推計3	推計4	推計5	推計6
2015	472	472	472	472	472	472	472
2020	442	446	442	446	442	452	448
2025	421	429	422	428	421	441	434
2030	392	404	396	401	392	420	411
2035	371	388	376	383	371	408	395
2040	344	369	356	360	346	392	378
2045	319	352	338	337	323	377	363
2050	305	345	330	325	310	374	358
2055	285	335	319	310	294	368	352
2060	269	328	312	297	281	366	349
2015-2040 増減率	-27.12%	-21.82%	-24.58%	-23.73%	-26.69%	-16.95%	-19.92%
2015-2060 増減率	-43.01%	-30.51%	-33.90%	-37.08%	-40.47%	-22.46%	-26.06%
2060(0-14 歳)	26	53	51	36	35	66	63
2060(15-64 歳)	141	173	173	159	158	198	197
2060(65 歳-)	102	102	88	102	88	102	88
2060 高齢化率	37.92%	31.10%	28.21%	34.34%	31.32%	27.87%	25.21%

※社人研推計準拠：平成 27 年 3 月末の住基人口を基準人口として、社人研の推計方法により推計した値
(出生率：1.24(2020 年)、1.23(2030 年)、1.30(2040 年)、1.30(2060 年))

将来人口のシミュレーション(幕別札内農村地域)

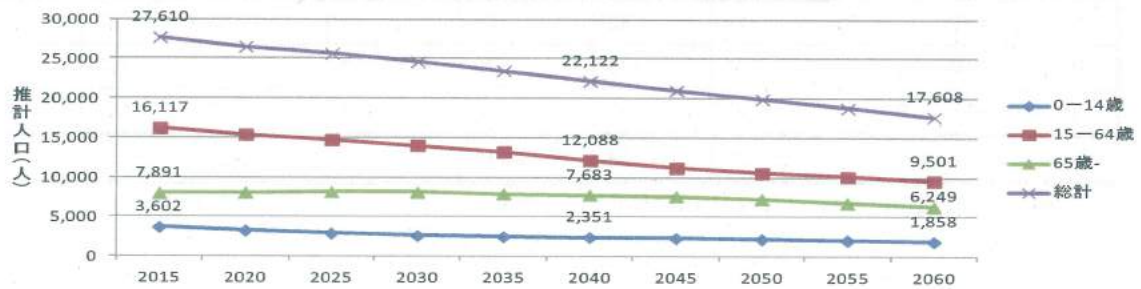


(3)年齢別人口推計

①平成 27 年 3 月末の住基人口を基準人口として、社人研の推計方法により推計した場合

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0-14 歳	3,602	3,187	2,842	2,560	2,438	2,351	2,269	2,153	2,012	1,858
15-64 歳	16,117	15,292	14,665	13,957	13,157	12,088	11,137	10,491	10,022	9,501
65 歳-	7,891	7,968	8,072	8,029	7,840	7,683	7,535	7,213	6,693	6,249
総計	27,610	26,447	25,579	24,546	23,435	22,122	20,941	19,857	18,727	17,608
高齢化率	28.58%	30.13%	31.56%	32.71%	33.45%	34.73%	35.98%	36.32%	35.74%	35.49%
増減率(0-14 歳)		-11.52%	-10.83%	-9.92%	-4.77%	-3.56%	-3.49%	-5.11%	-6.55%	-7.65%
増減率(15-64 歳)		-5.12%	-4.10%	-4.83%	-5.73%	-8.12%	-7.87%	-5.80%	-4.47%	-5.20%
増減率(65 歳-)		0.98%	1.31%	-0.53%	-2.35%	-2.00%	-1.93%	-4.27%	-7.21%	-6.63%

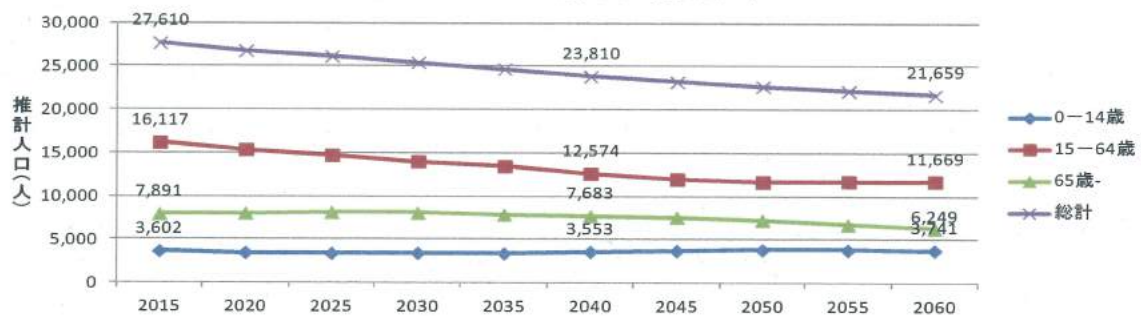
年齢別人口推計(社人研推計準拠)



②推計 1 の場合 (国の長期ビジョンに基づき推計)

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0-14 歳	3,602	3,446	3,353	3,415	3,370	3,553	3,690	3,807	3,769	3,741
15-64 歳	16,117	15,292	14,665	13,957	13,423	12,574	11,944	11,618	11,661	11,669
65 歳-	7,891	7,968	8,072	8,029	7,840	7,683	7,535	7,213	6,693	6,249
総計	27,610	26,706	26,090	25,401	24,633	23,810	23,169	22,638	22,123	21,659
高齢化率	28.58%	29.84%	30.94%	31.61%	31.83%	32.27%	32.52%	31.86%	30.25%	28.85%
増減率(0-14 歳)		-4.33%	-2.70%	1.85%	-1.32%	5.43%	3.86%	3.17%	-1.00%	-0.74%
増減率(15-64 歳)		-5.12%	-4.10%	-4.83%	-3.83%	-6.32%	-5.01%	-2.73%	0.37%	0.07%
増減率(65 歳-)		1.00%	1.31%	-0.53%	-2.35%	-2.00%	-1.93%	-4.27%	-7.21%	-6.63%

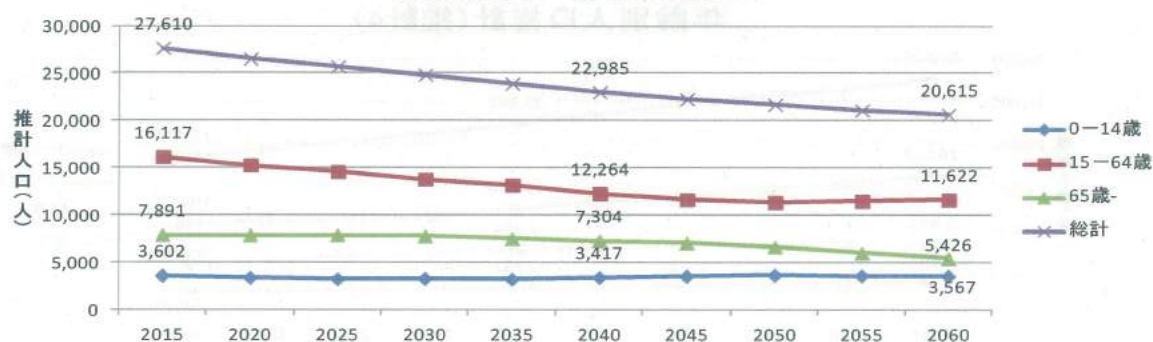
年齢別人口推計(推計1)



③推計2の場合（国の長期ビジョンに基づく推計（移動率をゼロと仮定））

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0-14 歳	3,602	3,384	3,248	3,291	3,235	3,417	3,563	3,678	3,621	3,567
15-64 歳	16,117	15,237	14,551	13,756	13,147	12,264	11,635	11,347	11,486	11,622
65 歳-	7,891	7,864	7,881	7,769	7,499	7,304	7,060	6,643	5,991	5,426
総計	27,610	26,485	25,680	24,816	23,881	22,985	22,258	21,668	21,099	20,615
高齢化率	28.58%	29.69%	30.69%	31.31%	31.40%	31.78%	31.72%	30.66%	28.40%	26.32%
増減率(0-14 歳)		-6.05%	-4.02%	1.32%	-1.70%	5.63%	4.27%	3.23%	-1.55%	-1.49%
増減率(15-64 歳)		-5.46%	-4.50%	-5.47%	-4.43%	-6.72%	-5.13%	-2.48%	1.22%	1.18%
増減率(65 歳-)		-0.35%	0.22%	-1.42%	-3.48%	-2.60%	-3.34%	-5.91%	-9.81%	-9.43%

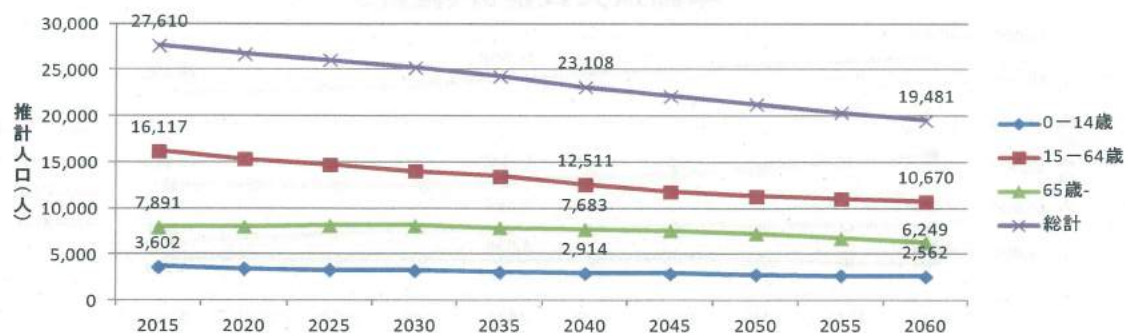
年齢別人口推計(推計2)



④推計3の場合（住民アンケート結果から算出した町の合計特殊出生率による推計）

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0-14 歳	3,602	3,413	3,287	3,193	3,024	2,914	2,861	2,781	2,677	2,562
15-64 歳	16,117	15,292	14,665	13,957	13,389	12,511	11,725	11,257	10,983	10,670
65 歳-	7,891	7,968	8,072	8,029	7,840	7,683	7,535	7,213	6,693	6,249
総計	27,610	26,673	26,024	25,179	24,253	23,108	22,121	21,251	20,353	19,481
高齢化率	28.58%	29.87%	31.02%	31.89%	32.33%	33.25%	34.06%	33.94%	32.88%	32.08%
増減率(0-14 歳)		-5.25%	-3.69%	-2.86%	-5.29%	-3.64%	-1.82%	-2.80%	-3.74%	-4.30%
増減率(15-64 歳)		-5.12%	-4.10%	-4.83%	-4.07%	-6.56%	-6.28%	-3.99%	-2.43%	-2.85%
増減率(65 歳-)		0.98%	1.31%	-0.53%	-2.35%	-2.00%	-1.93%	-4.27%	-7.21%	-6.63%

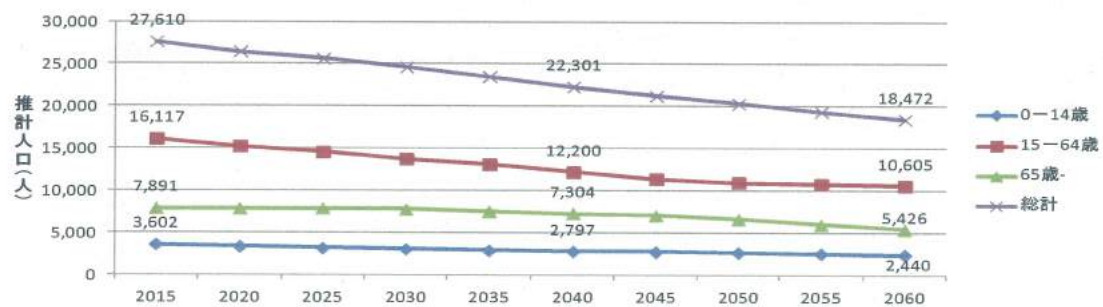
年齢別人口推計(推計3)



⑤推計4の場合（住民アンケート結果から算出した町の合計特殊出生率による推計（移動率をゼロと仮定））

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0-14歳	3,602	3,350	3,183	3,075	2,901	2,797	2,758	2,686	2,572	2,440
15-64歳	16,117	15,237	14,551	13,756	13,114	12,200	11,419	10,980	10,804	10,605
65歳-	7,891	7,864	7,881	7,769	7,499	7,304	7,060	6,643	5,991	5,426
総計	27,610	26,451	25,616	24,600	23,514	22,301	21,238	20,309	19,367	18,472
高齢化率	28.58%	29.73%	30.77%	31.58%	31.89%	32.75%	33.24%	32.71%	30.93%	29.37%
増減率(0-14歳)		-7.00%	-4.99%	-3.39%	-5.66%	-3.58%	-1.39%	-2.61%	-4.24%	-5.13%
増減率(15-64歳)		-5.46%	-4.50%	-5.46%	-4.67%	-6.97%	-6.40%	-3.84%	-1.61%	-1.84%
増減率(65歳-)		-0.34%	0.22%	-1.42%	-3.48%	-2.60%	-3.34%	-5.91%	-9.81%	-9.43%

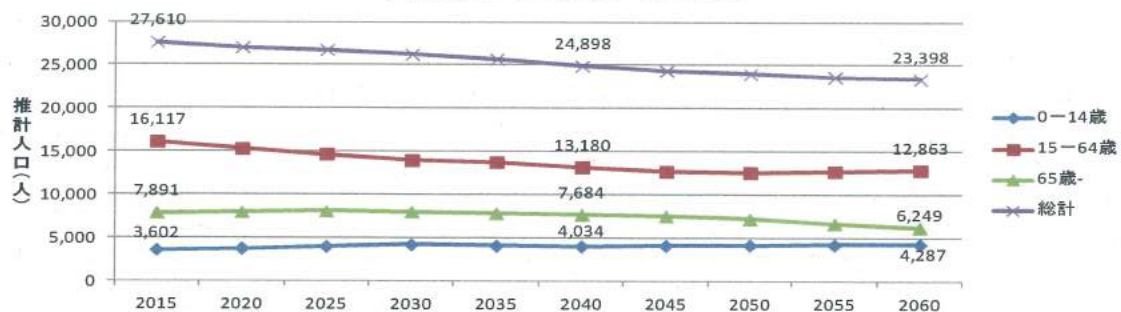
年齢別人口推計(推計4)



⑥推計5の場合（住民アンケート結果から算出した地域ごとの合計特殊出生率による推計）

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0-14歳	3,602	3,767	3,987	4,226	4,067	4,034	4,128	4,187	4,232	4,287
15-64歳	16,117	15,291	14,665	13,956	13,753	13,180	12,687	12,583	12,718	12,863
65歳-	7,891	7,968	8,073	8,029	7,840	7,684	7,536	7,213	6,694	6,249
総計	27,610	27,026	26,725	26,211	25,661	24,898	24,351	23,983	23,645	23,398
高齢化率	28.58%	29.48%	30.21%	30.63%	30.55%	30.86%	30.95%	30.08%	28.31%	26.70%
増減率(0-14歳)		4.58%	5.84%	5.99%	-3.76%	-0.81%	2.33%	1.43%	1.07%	1.30%
増減率(15-64歳)		-5.13%	-4.09%	-4.83%	-1.45%	-4.17%	-3.74%	-0.82%	1.07%	1.14%
増減率(65歳-)		0.98%	1.32%	-0.55%	-2.35%	-1.99%	-1.93%	-4.29%	-7.20%	-6.65%

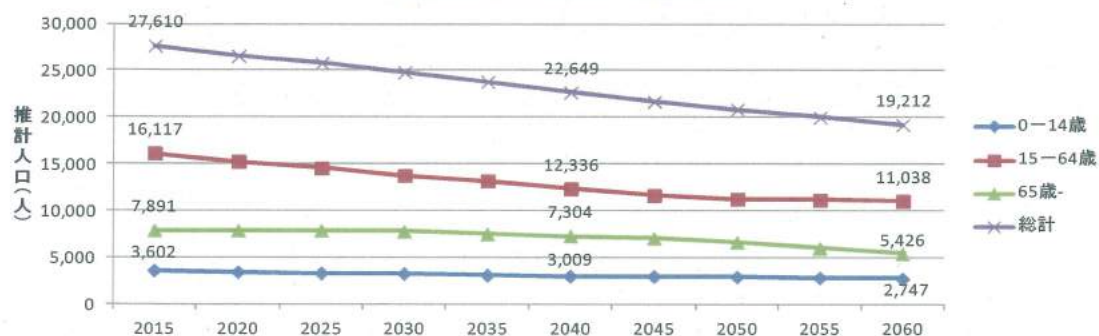
年齢別人口推計(推計5)



⑦推計6の場合（住民アンケート結果から算出した地域ごとの合計特殊出生率による推計（移動率をゼロと仮定））

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
0-14 歳	3,602	3,420	3,320	3,275	3,101	3,009	2,994	2,945	2,855	2,747
15-64 歳	16,117	15,237	14,551	13,756	13,184	12,336	11,619	11,249	11,151	11,038
65 歳-	7,891	7,864	7,881	7,769	7,499	7,304	7,060	6,643	5,991	5,426
総計	27,610	26,521	25,753	24,800	23,784	22,649	21,673	20,837	19,997	19,212
高齢化率	28.58%	29.65%	30.60%	31.33%	31.53%	32.25%	32.57%	31.88%	29.96%	28.25%
増減率(0-14 歳)		-5.05%	-2.92%	-1.36%	-5.31%	-2.97%	-0.50%	-1.63%	-3.06%	-3.78%
増減率(15-64 歳)		-5.46%	-4.50%	-5.46%	-4.16%	-6.43%	-5.81%	-3.18%	-0.87%	-1.01%
増減率(65 歳-)		-0.34%	0.22%	-1.42%	-3.48%	-2.60%	-3.34%	-5.91%	-9.81%	-9.43%

年齢別人口推計(推計6)



(4)人口動態が地域に及ぼす影響・・・原案に記載する

人口減少は、地域経済の縮小や出生数のさらなる減少を招くことになるほか、少子高齢化を伴う人口構造の変化は、高齢化率の上昇による医療費や介護給付費の増加や、地域社会の維持が重大な局面を迎えます。

(想定される項目例)

- ①財政状況への影響
- ②公共施設の維持管理への影響
- ③労働力への影響
- ④地域経済（消費活動など）への影響
- ⑤地域活動への影響
- ⑥農村地域における農地保全への影響

Ⅱ 人口の将来展望・・・原案に記載する

- 1 目指すべき将来の展望
- 2 人口の将来展望

幕別町創生総合戦略（5 力年 平成 27 年度～平成 31 年度）の骨子のイメージ

平成27年9月9日
人口減少対策推進本部 資料3

項目	基本目標	基本的な方向(案)	取り組むべき柱
記載する内容	○総合戦略における政策分野の決定 ○5年後の基本目標を設定(数値目標)	○基本目標を達成するために講ずる施策の基本的方向を記載する。	○基本的な方向に則しながら取り組むべき施策の柱を記載する。
仕事づくり ・ 人づくり ・ まちづくり	産業の振興と雇用の場をつくる 基本目標（例） ○町内事業所数 ○就業者数	【記載例】 ○地域産業の振興や競争力の強化 ○企業支援による仕事や雇用の創出 ○地域の産業を担う人材の確保と育成 ○若者が働きやすい職場環境づくり など仕事づくりや人材育成について記載	【主な記載例】 ○農業経営の安定化と耕作放棄地の防止 ○新製品や新技術の導入支援、販路拡大 ○企業誘致の支援、創業支援の強化 ○U I J ターン促進と担い手の育成 ○従業員の福祉の向上
	十勝・幕別への人の流れをつくる 基本目標（例） ○転入者数 ○転出者数 ○交流人口者数	【記載例】 ○町の魅力の情報共有と情報発信 ○子育て世代や若者の呼び込み ○地域の特性を生かした観光拠点の整備 など観光・交流や定住について記載	【主な記載例】 ○地域資源の発掘と情報発信力の充実 ○都市農村交流活動の推進 ○移住・定住の促進 ○集客の核となる拠点整備
	結婚・出産・子育ての希望をかなえる 基本目標（例） ○婚姻数 ○出生数 ○合計特殊出生率 ○子育てしやすいと感じる住民割合	【記載例】 ○若い世代が希望する結婚・出産・子育てを支える支援体制の充実 ○妊娠・出産・子育てに係る負担の軽減 ○将来を見越した魅力ある教育環境の整備 ○子育てと仕事を両立するためのワーク・ライフ・バランスの実現 など結婚・出産・子育て・教育について記載	【主な記載例】 ○出会い・結婚支援体制の構築 ○出産希望者に対する支援 ○子育て世帯への経済的支援 ○時代の変化に対応した教育環境の整備 ○子育てと仕事の両立支援
	安全・安心で快適な暮らしができるまちをつくる 基本目標（例） ○健康寿命 ○1人当たり医療費 ○防災対策が十分と感じる住民割合	【記載例】 ○健康で生き生きと暮らすための支援 ○高齢者や障害者など多様な世代が安心して暮らせる環境づくり ○魅力のある中心市街地の形成 ○市民活動の向上 ○災害時における防災体制の確保 ○町内外との交流・連携の促進 など多様な世代の生活環境・防災対策・市民活動・地域連携について記載	【主な記載例】 ○健康寿命の延伸に向けた取り組み ○高齢者に対する生活環境の支援 ○障害者の就労機会の拡充 ○市街地における交流の場の創出 ○市民活動の機会の創出 ○防災体制・防災活動拠点の整備 ○町内交流・広域連携の推進